

1. 件名：「浜岡原子力発電所 3号炉及び4号炉の地震等に係る新規制基準適合性
審査に関する事業者ヒアリング(140)、(173)」

2. 日時：令和5年5月17日(水) 10時00分～12時15分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門
職、西来主任技術研究調査官、原田安全審査専門職、井清係
員、山下技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 天野原子力土建部長
他9名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・浜岡原子力発電所 基準地震動・基準津波等の審査スケジュールについて
〈〈本年5月10日に受領済み〉〉
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について（補足
説明資料）

時間	自動文字起こし結果
00:00:00	はい。
00:00:03	それから、
00:00:05	ラインで、これ、それから取らないと、多分、
00:00:34	はい。それでは時間になりましたので、浜岡原子力発電所、
00:00:39	基準津波の策定のうち地震による津波と、あとスケジュールですね、ヒアリングを始めます。資料としては5月10日に提出いただいている、先ほど申し上げた
00:00:52	地震による津波の資料と、その補足資料ですね、この2点と、あとは、本日付で基準地震動基準津波審査のスケジュールと、
00:01:04	いう所3点がありますので、スケジュールの方も少し、中身の方が、先ほどの津波の方針とかぶる部分がありますので、一気に通貫で説明をしてもらってそのあとで、
00:01:15	確認というこちらから確認という形にしたいと思います。では中部電力の方から説明をお願いします。
00:01:23	はい。中部電力浜野でございます。本日ヒアリングのお時間いただきありがとうございます。前回、4月26日に実施していただきました津基準津波の策定方針の
00:01:34	ヒアリングでご確認いただいた部分で、資料の方わかりやすく、修正して参りました。また、スケジュールの方も見直してきましたのでご説明させていただきたいと思います。
00:01:48	津波の方がおよそ10分程度のご説明でスケジュールも十分ぐらい載せ説明になるかと思います。よろしくをお願いします。
00:02:01	中部電力永松です。どうぞ。まず、浜岡原子力発電所の基準津波の策定のうち地震による津波の方についての方の資料について、前回ヒアリングからの修正点の、
00:02:13	ご説明をさせていただきます。
00:02:15	こちらの資料の5ページをまず開いていただきまして、
00:02:19	こちらから基準津波の策定の論点に関する評価方針を示してございますけども、これらのうち、7ページと20ページについて、前回、
00:02:30	追加の資料としてお示ししましたものを本編資料に入れ込んでございます。
00:02:34	また本編、これに合わせて資料中の記載の整合を図っております。
00:02:40	続いて13ページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:48	こちら津波発生要因の組み合わせの論点に関する評価方針のうち、津波を組み合わせる時間差の検討方法について、前回ヒアでは、一体計算による津波、パラメータスタディにあたって、梶浦 1963 を適用する方針としていましたが、
00:03:03	前回ヒアの議論を踏まえまして、基準津波の策定においては、梶浦 1963 を適用しないこととし、関連する記載を削除いたしました。
00:03:13	続いて、
00:03:14	19 ページをお願いします。
00:03:20	検討対象とする波源モデルの選定のうち、
00:03:24	水位下降側について、
00:03:26	ですけれども、前は水位下降側では組み合わせの影響が小さいと考えられるので、いろいろ検討してみて、検討対象を選定するというふうにしておりましたが、今回水位上昇側と同じ方針で検討するという記載に修正させていただきます。
00:03:42	1 ポツ目の 2 行目からですが、
00:03:44	左のプレート間地震の津波の 8K からは、出席等に及ぼす影響が大きい時間体は、いずれの基準断層モデルでもほぼ同じであり、
00:03:53	基準断層モデルの違いが、
00:03:55	津波の組み合わせに与える影響は小さいと考えられることから、プレート間地震の津波評価の結果、
00:04:02	最も取水層への影響の大きい基準断層モデル 2-3 を検討対象として選定します。
00:04:08	また、3 ポツ目、海底地すべり、海域の活断層による地殻内地震について、それぞれの津波評価の結果、取水塔への影響が最も大きい。
00:04:19	S26 地点の海底地すべり、
00:04:21	駒田海脚西部の断層体の地震を凶中に、オレンジの線の範囲で示しております、プレート間地震の津波影響が大きい時間体における影響も大きいことを確認した上で、
00:04:33	検討対象として選定いたします。
00:04:36	次に 12 ページをお願いします。
00:04:46	こちらは前回ご確認いただきました活断層に関する地震動評価と津波評価の比較を示してございます。
00:04:54	分岐断層に関する評価については、上の表の通り、左の地震動評価及び右の津波評価ともに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:05:01	プレート間地震の破壊を、プレート境界の浅部から分岐して、海底面へ延びる分岐断層に連続的に伝播させた系統を実施しています。
00:05:11	地殻内地震として考慮する活断層に関する評価については、下の表の通り、地震動評価及び津波評価は、
00:05:19	ともにプレート境界面の破壊が伝播する可能性は低いと考えられますが、
00:05:25	プレート境界の宇和版にその断層が位置し、
00:05:28	プレート間地震の破壊に伴って活動する可能性を慎重に考慮して、
00:05:33	プレート間地震と活断層の地震等連動発生させた検討を実施します。
00:05:38	ここで、地震動評価では、プレート間地震の破壊を活断層に伝播させた検討を実施して、短周期の主要動同士が重なっていることを確認しており、
00:05:49	津波評価では、津波が震度よりも長周期であることから、長周期の津波同士が重なるように、敷地への津波影響の大きいプレート間地震と活断層の発生の時間差を考慮した検討を、
00:06:03	行います。
00:06:05	続きまして 31 ページをお願いします。
00:06:19	こちらは敷地周辺の既往津波をまとめてございますが、表の海洋プレート内地震について注釈をつけまして、前回ご確認のありました 2010 年の
00:06:30	小笠原諸島父島近海の海洋プレート内地震、
00:06:33	太陽太平洋プレート内の地震で Mw7.3 ですが、これについて記載を追加し、敷地周辺の御前崎市では、津波が観測されていないことを記載してございます。
00:06:46	次の 32 ページ。
00:06:49	の、2022 年トンガの火山噴火に関する基本情報。
00:06:53	のうち、噴火規模を引用した産総研のデータベースの引用名を、前回は仲野ほか 2013 としておりましたが、産業技術総合研究所 2022 に変更してございます。
00:07:08	続いて、70 ページをお願いします。
00:07:26	はい。こちらは海洋プレート内地震の津波評価、波源位置に関する検討の検討結果を表でまとめてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:07:34	こちらの表の左端に列のトラフ軸方向とトラフ軸直交方向の位置を入れ替えて整理し直してトラフ軸方向の位置を中心として結果を確認した時に理解しやすいようにいたしました。
00:07:49	71 ページから 73 ページについても同様の修正をさせていただきます。
00:07:54	本店の変更箇所は以上になりまして、続いて、補足説明資料の方の 63 ページをお願いします。
00:08:07	補足説明資料の 63 ページです。
00:08:22	はい。こちらは分岐断層のうち東海断層系の北端に関して調査結果に基づいて、文献で言われているものよりもやや延長させていただきますので、企業資料の
00:08:34	再掲という形でその説明内容を、63 ページから 65 ページに追加させていただきます。
00:08:41	続きまして、
00:08:43	同じ資料の 73 ページをお願いします。
00:08:55	はい。こちらもさっき既往資料の再掲ですが、今回地震動評価との比較をお示ししたことに伴い、地震動評価における検討対象とする活断層の選定等に関する資料を、
00:09:08	補足に追加しております。
00:09:11	76 ページと 77 ページも同様に地震動の企業資料の再掲となっております。
00:09:18	最後、78 ページから 81 ページ。
00:09:23	ですけども、
00:09:26	こちら、活断層の傾斜角のパラメータスタディケースの断層パラメータの表を追加させていただきます。
00:09:33	傾斜角を変更いたしますと、断層幅面積と、それに伴い滑り量のパラメータが変化いたしますので、今回それを見えるようにしております。
00:09:44	その他、資料を再確認しまして記載の統一や、記載の適正化等を実施させていただきます。以上で変更点に関するご説明を終わります。
00:09:56	中部電力浜野でございます続けて審査スケジュールの方についてもご説明をさせていただきたいと思えます。
00:10:04	2 ページに目次を入れております。1 章としまして、各審査項目の審査の進捗状況と対応状況と、いうことで、
00:10:14	二つ目、基準地震動基準細部の説明項目と論点に関する評価方針ということでこちらに特に今後議論いただきたい論点となるところを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:10:27	記載しておりますと、特に先行プラントと同様の課題でも取り組んでいるもの、或いは浜岡こういうの課題であるというところを認識した上で、
00:10:37	そこをどういうふうに対処していくかというところを詳しく記載をさせていただいております。それらを踏まえて3章で審査スケジュールという形にしております。
00:10:47	で、めくっていただいて1章のところはですね、赤字で、前回第1122回審査会合から変わったところという形にしておりますが、概要ですのであまり、
00:10:59	変わっていませんので説明は割愛させていただいて2章のところ詳しく説明させていただきたいと思っておりますで、地震動のところを岩瀬で津波と小森から説明させていただいて3、最後、審査スケジュールのところ、
00:11:12	私からまた説明させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。
00:11:20	中部電力の岩瀬です。それでは5ページの基準地震動の策定の項目のところについて説明させていただきます。今回こちらについては、審査で、
00:11:31	どんなことが論点になるかというのを、通常基準地震動の策定の項目を左に置いて、その中のどこ。
00:11:40	ownが一緒でどこが論点になるかということを議論しやすいように、整理したつもりでございます。
00:11:47	一番左側、基準地震動、これ全サイト皆さん一緒だと思いますけれども策定を、大きな策定方針があって、それぞれ応答スペクトル法を断層モデル法特定せずのSsということで、
00:12:00	それを順番に議論していくということでございます。
00:12:03	一番最初の論点のところ、全体の策定方針につきましては当然一番最初の方針については皆さん、どのサイトも一緒ということで共通の論点とを書いておりますが、
00:12:17	浜岡については二つ、大きく固有の論点がありまして、一つは顕著な増幅、地震動の顕著な増幅をどうSsで扱おうか、もう一つは免震構造を採用しておりますので、免震構造のところ、
00:12:31	免震構造用の基準地震動を作る必要がある。
00:12:36	これが大きな論点と考えております。
00:12:39	で、二つ目の顕著な増幅のところについてはここ今、記載で

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:12:46	増幅を考慮しない領域の SS 湾と、
00:12:50	考慮する領域の整数を作りますということを記載してございますが、この辺りについては震源を特定して策定する地震動のところ、基本的には説明してございますので、
00:13:01	この辺再度、丁寧にご説明させていただくということを考えております。
00:13:07	次の免震についてはこれは初になるんですけども、我々としては
00:13:14	免震構造を採用しているのは、緊急機、緊急時ガスタービン。
00:13:19	発電機建屋これ免震 GTG 建屋と省略させていただきましたが、させていただいておりますが、この固有周期が、免震構造としては比較的短くて、
00:13:32	免震構造の審査ガイド、
00:13:35	を踏まえて、固有周期の二倍に着目しても、通常の Ss と同じ 5 秒以下、実際構造物自体は、ちょっとひずみの量によって、こういう周期が動くんですけどいずれにしても 2 秒前後、1. 何秒から、
00:13:49	明朝は間のこういう周期になりますので、そういうことこれが 1 点、もう一つは浜岡の地震動に支配的な地震というのは、やや離れたところで大きな規模の地震があったりすると、
00:14:02	まだ話が違うんですけども、浜岡の場合は短周期はやや長周期得るところにも、敷地の真下といってもいいところに Mw9 のプレート間地震がありますので、
00:14:13	両方とも同じプレート間地震が対象だということも踏まえると、別途免震設計用に基準地震動は策定しないと、そういう方針を説明する予定でございます。
00:14:25	ただしというかもう
00:14:28	一方で免震ガイドの方については、
00:14:32	免震設計に用いる模擬地震動について、プレート間地震の断層モデルを用いた手法の時刻歴は形で、
00:14:41	へえ。
00:14:44	とかあと、国交省の基整促波との比較により、継続時間を検証するという規定がございますので、これ、こちらについても、きちりあわせて説明をさせていただく予定です。
00:14:57	次続きますしてを通す PET る法に基づく、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:15:01	Ss-Dでございますが、こちらについても先ほどこれ両方とも増幅ありとなしの Ss 埋設それぞれについて基本的には同じ方針で、
00:15:13	応答スペクトル法に基づく地震動の評価結果を全部包絡するとともに、
00:15:19	それだけじゃなくて断層モデル法の地震の評価結果も踏まえて、応答スペクトル法の形状を設定しますと。
00:15:27	で、その結果としての形状については当初申請から変更はないということでご説明する予定です。
00:15:36	もう次の紙のところが浜岡の特徴に係る論点ということで挙げてございますが、これ当初申請の時の一番最初の概要説明の時に、
00:15:46	水平動と鉛直動の比率について、根拠をちゃんと説明するようにとコメントがついているところございまして、これにつきましては、敷地の地震の影響が大きい。
00:15:57	プレート間地震の断層モデルによる地震動評価結果、この断層モデル方法を、
00:16:03	参照した結果としてより鉛直動より成分を少し大きめに設定してございますので、その結果としてちょっと水平動から見ると、鉛直動が、
00:16:13	少し小さく見える。逆に言うと鉛直動から見ると水平動がより大きくなっておりまして、これプレート間地震の審査において、すでに
00:16:24	水平動と鉛直の比率が 2 対 1 になってるけど、これちゃんと要因分析して説明するようにとコメントを受けておりまして、これについては
00:16:33	その特徴を分析して回答しておりますので、それを踏まえた基準地震動の策定に、
00:16:40	なるということをご説明する案になっているということをご説明することを考えております。
00:16:46	これより下は先行サイトと共通の論点で、考え方も一緒なんですけれども、当初申請より変更になるという形の項目になります。
00:16:58	設計を模擬地震動の継続時間の設定についてですけれども、当社も、野田衛藤野田の方法を用いて地震規模等に基づいて設定することは、
00:17:09	同じですが、地震規模を設定しないといけませんので、それについては今ここに書いてございますように、2021 年の東北地震の、
00:17:21	強震動の距離減衰式から求められる Mw が 8.2 から 8.3 程度であること。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:17:27	また Noda の方法の適用範囲、これの最大が Mj8.5 であることを踏まえて、Mj8.5 と設定することを、ご説明する予定です。
00:17:37	これ当初申請から変更になってございますがこれ第 100745 回のプレート間地震の審査において、Noda の方法の
00:17:47	沖地震規模の設定をちゃんと整理して説明するようというコメント対応がありまして、その中で適用範囲等をしっかりこちらで再度制度にさせていただいて、
00:17:57	ここに書いてある考え方で、地震規模を設定しておりますので、それを模擬地震動の策定にも反映したと、そういう位置付けのを、
00:18:06	内容になります。
00:18:08	なおで書いておりますけど、当然、これについては、
00:18:11	断層モデル法の地震動評価結果と比較して、ちゃんと保守的に設定されていることをご説明いたします。
00:18:20	あと残り断層モデル法と特定せずですが、
00:18:24	断層モデル法につきましてはまた、こちら Ss は移設について、
00:18:30	それぞれ Ss-D を上回るケースから、Ss-D をまわる周期で最大のトップとなる地震動を基準地震動とします。
00:18:38	断層モデル法の地震動評価結果が追加になったり変更しているものがありますのでその関係で当初申請から変換になっておりまして、
00:18:47	変更したものは、
00:18:50	エスワン Ss とも主としてプレート間地震の連動ケース、これは審査のコメントを受けて、プレート間地震の直下のケースと、
00:19:01	あと、内陸の活断層とか分岐断層、
00:19:04	とかも連動させてるんですけども、内陸地殻内地震について、当初申請と違いまして不確かさを考慮したモデルも含めて、かなり保守的に連動、
00:19:16	させていただきますので、そうやって評価したものが、上野 SS の主なものになってございます。
00:19:24	震源を特定せずにつきましてはこれも Ss-D を上回る地震動を基準地震動とするという方針でご説明いたしますが、
00:19:33	これ今審査いただいている、特定せずの資料で、Ss、当初申請の Ss-D との比較を示してございますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:19:43	標準応答スペクトルの方が、 S_s は S_s 数とも S_s-D を上回りますので、こちらが基準地震動として追加になると、そういうことをご説明する予定でございます。
00:19:55	こちらの資料については以上です。
00:19:59	はい。中部電力の森です。ページ 6 ページ目からが、基準津波の項目と論点になります。で、
00:20:06	まず 6 ページ目が、海域の活断層による地殻内地震の津波ということで、先ほどご説明した地震動と同じように、各項目とそれに対する論点と、
00:20:17	それに対する方針というものを整理してございます。で、
00:20:20	項目と論点ということなんですけども基本的には、方針、各項目の方針が論点になるというふうに考えておりまして、その
00:20:29	方針について、このペーパーでまとめさせていただいていると、いうものでございます。まず津波評価の方針ということで、プレート間地震との組み合わせの対象になるということを踏まえて、網羅的なパラメータスタディをやっていくと。
00:20:44	で、次に、浜岡の特徴に係る論点ということで、
00:20:51	海域の活断層について、南海トラフの特徴を踏まえて、分岐断層というものとそれ以外の地殻内地震と考慮する活断層ということで、これまで活断層調査、地震動評価等で御説明組織、
00:21:04	きたものと同じになりますけれども、分類をしていると。で、そのうち地殻内地震のとして考慮する活断層について、検討対象をやっぱりの予測式で選んでいて、
00:21:17	地震規模、波源モデルの設定を土木学会の方法で設定していくと。最後に、パラメータスタディということで、土木学会に基づいて津波評価に影響を与える主要な因子として、
00:21:28	傾斜角、滑り角、断層上端の深さの不確かさというのを考慮して、これを組み合わせたパラメータスタディを実施するというような方針で、
00:21:39	今回お出ししている、これまでは知ってる資料を構成してございます。
00:21:43	傾斜角、滑り角、断層上縁深さについては、
00:21:48	活断層調査の結果を踏まえて、それぞれパラメータ SARRY の範囲を設定しているというものでございます。
00:21:55	次ページが、海洋プレート内地震の津波の、同じような評価方針をお示ししたものです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:03	同じく項目があって、論点ということで、基本的には方針が論点ということでその記載をこちらに1ページで整理しています。
00:22:16	まず津波評価の全体、海洋プレート内地震の全体の方針ということで、プレート間地震との組み合わせの対象外であることを踏まえて、
00:22:25	敷地への影響がM9クラスのプレート間地震の津波と比べて小さいということを確認するというような方針しています。
00:22:33	で、検討対象の選定としては、阿部の予測式により、相対的に大きいものを選んでいくと、地震規模については、南海トラフで発生した過去の最大規模に基づいて、保守的に設定してあります。
00:22:46	こちら地震動評価と合わせた方針としています。
00:22:50	で、波源モデルについて、過去地震の知見に基づいて設定し、
00:22:56	敷地前面のどこでも起こり得るということで、複数の箇所に設定しています教育断層も先行審査等共通の論点として考慮した評価を行っています。
00:23:08	最後にパラメータスタディについては、M9クラスのプレート間市の津波による影響と比較して明らかに小さいということを確認していますので、
00:23:18	波源の断層パラメーター、上端深さや走向傾斜といったようなパラメータSARRYまでは実施しないというような方針にさせていただきます。
00:23:28	最後に、8ページ目が、津波発生要因の組み合わせに関する、
00:23:34	説明項目と論点になります。こちら同じ評価方針対象、検討対象の選定組み合わせの検討ということで、各論点をそれぞれ、方針というところを整理しております。
00:23:46	こちら本編資料の方とほぼほぼ同じ内容になりますので、ちょっと説明は割愛させていただきますけれどもそれぞれ、
00:23:54	プレート間地震を中心として、
00:23:57	評価しているということと、どういうものが組み合わせになるのか。
00:24:00	どの波源モデルを選ぶのか、組み合わせの方法はどうかということを
00:24:06	この様式で整理し直させていただいています。で、次回の審査会合で、この5ページから7、ページじゃないですね、すみません津波については6ページから8ページ。
00:24:18	この部分の方針について、
00:24:21	ご議論いただくと、審査が次に進みやすいのではないかというふうに考えております。津波についての説明は以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:24:31	は一部抜かものでございます。最後、10 ページと 11 ページの審査スケジュールについてご説明をさせていただきたいと思います。10 ページが 2023 年度の
00:24:41	スケジュールの目標を記載させていただいておまして 11 ページに、2024 年度という形にしております。で、
00:24:51	昨年 11 月の審査会合で審査スケジュールご説明させていただいて、その前に、弊社の社長のトップ会談の中でもご議論いただいた通りで基準地震動と基準津波を、
00:25:05	決めることでプラント班の審査を再開というところを、最大の目標として進めていくと、地質の方は多少時間かかりますが並行してやっていただくと。
00:25:16	いう前提で記載をさせていただいております。
00:25:19	で、箱書きの二つ目に書いてますが、先般、大嶋規制部長のところにも面談に行かしていただいた中でもやっぱり、そのあんまり無理に詰め込んだものも当然できない。
00:25:33	ということと一方で、四半期報告でしっかり進捗を出していってくと。それによって規制委員会の中で、
00:25:42	やっぱり浜岡の Ss も決まってきたしそろそろプラント班という議論ができるということもありまして、現状ここをね、7 月ってのはもう不可能だと考えてますので 10 月、
00:25:54	画面で Ss が決まって津波の議論が進捗しているというところを、今最大の目標で記載をさせていただいております。で、当審査会後も、が月に例えば 2 回みたいなことではなくて、毎月、何かしら浜岡のことで、審査会を 1 回、
00:26:12	実施いただけるよう、資料の方は整備して、提出していきたいと思っております。具体的に基準地震のところ見ていただきますと、特定せず、もうすでに資料提出済みですのでこちら、
00:26:25	6 月に審査会合いただきましたら基準地震動の方の審査の方に進めていき、
00:26:32	行かせていただきたいというふうに考えております。10 月の四半期報告を目指して 9 月末までに何とか Ss を決めるということで今回、
00:26:42	先ほど岩佐からご説明申し上げた通りで、
00:26:46	Ss 策定におけるその論点というのは、スケジュールの中で先出させていただきましたので、多少なりともそのあたりの議論が次の審査会合でできればありがたいというふうに考えてございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:27:01	津波につきましては、今日、ヒアリングやっておりますので審査会合にかけていただいて一番重要な基準津波の策定のその全体の方針、特に組み合わせのところの考え方について、
00:27:13	ご議論をいただきましてそのあと、7月ぐらいいに残った、今回も提出済みですから活断層とか海洋プレート内の具体的な評価、
00:27:24	或いは地すべり火山現象の残っているコメントが三つほどございますねその回答ということで、それぞれ個別の
00:27:33	津波を決定いただいて9月ぐらいいに組み合わせということはいよいよ策定方針でご議論いただいたものを、
00:27:44	実際に組み合わせた評価結果としてこうなりますと、いう説明をしていきたいと思えます。またあわせてプレート間地震の津波、論理構成のところは、
00:27:54	どうしても今までコメント対応してきて、全体としてどうなんだという整理ができていないので、この辺りも整理した上で説明すると、で、最後基準津波ということでもとめの方に入っていきたいというのが、
00:28:08	大きな流れでございます。ちょっと、これ、月1回と申し上げながら9月に基準地震動と津波の組み合わせというものを入れさせていただいておりますここを、
00:28:20	これは先ほど申し上げた通り10月ダンメンである程度の進捗というところで入れさせていただいておりますこれも審査、審査会合の中で、ちょっとここはやり過ぎじゃないのということであればまたご指摘いただければ、
00:28:33	やりながら考えては参りますがまず我々の気持ちとしては、ここをターゲットにさせていただいております。10月四半期報告を、
00:28:44	経た上でプラント班の方に移行していくという流れを記載させていただいております。
00:28:49	で、上段の地質数につきましてははですねやはり、もうこの緑の結果っていうのは出てないというのが事実でございますのでこのあたりの整理中ですんで、
00:29:00	それを踏まえて、じゃあ、
00:29:02	どういった方針にリバイスしてまたご説明するかというのを調査結果整理した上で、改めてご説明をして審査会合で、
00:29:13	ご報告したいと思っております。ただ、ちょっとお時間くださいというあたりは次の審査スケジュールの審査の中で、お話した方がいいのかなと思っておりますのでそういった形でいきたいと思っておりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:29:26	今追加調査もしてますのでこの辺りを整理した上で年末と年度末には、新たな策定方針で何とか御説明していけるように対応を進めているところでございます。
00:29:39	めくっていただいて11ページでもう、こちらはもう、最終的に基準地震動と基準津波のまとめをさせていただいた上で、春に現地調査、地質の現地調査いただいて最後まとめと、
00:29:52	というようなことで、我々としては目標として掲げて頑張っていきたいと思っております。説明は以上になります。
00:30:03	はい。
00:30:03	引き続き説明ありがとうございました。
00:30:07	あれ、スケジュールなんか提出は特にいいですか。これ今日津波のヒアリングなので、これはちょっと後で最後に、
00:30:15	すいません。
00:30:15	はい。渋谷株主ちょっと地質とは、今書いてあるぐらいが、現状なんでちょっと整理した上でもう一度改めてヒアリングでご説明したいと思っております。
00:30:28	わかりませんと後で確認しますね。はい。
00:30:31	そうすると、まずは医師による津波の方についてとあとスケジュールのうちちょっと津波の方を先にありますね。
00:30:40	という順番で最後地震動の話とさっきの地質の部分のスケジュールは一番最後に確認するというにしたいと思います。
00:30:50	はい。イエイ。
00:30:52	ちょっとスケジュールを横に置きながら見ると、今回は津波の組み合わせの方針と、それに基づいた地震による津波の大島海域活断層、海洋プレート内の大方針ということで、
00:31:06	今回の地震による津波、
00:31:11	この資料をで言うところの、46ページからがプレート間の概要なので、実際中身としてはその前までかな、40、
00:31:22	5ページまでが、
00:31:26	講師今回そうですね海域活断層とプレート内の方針とそれその通りに行った場合に最終的な仕上げのイメージこういう説明しますと。
00:31:36	もう少し見通しの話をしていて、
00:31:38	それぞれ杉市長にヒアリングで部分的にも確認してはいますが、それぞれの評価を具体的にどういうふうにするのかっていうのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:31:48	その後ろになるので、
00:31:50	ちょっとこれを参考にすると補足説明資料は、
00:31:55	補足説明資料なのかっていうのはちょっとありますけど、場合によっては、
00:31:59	何ですかね。
00:32:01	プレート間の概要は残るのかなあ。
00:32:05	51 ページから参考資料 2 のカバーにしてそこにその補足説明資料ってつけてもいいですけど、あまりそこは杓子定規に、
00:32:15	1 日は言いません今回の説明内容と、
00:32:19	ただそのために一応今後今やっている検討の作業ということで、参考という形でわかるようにさえなっていれば、審議範囲がですね、
00:32:28	そこは特には申し上げませんので、一応、スケジュールとの関係で言うと、その 45 ページまでを、
00:32:37	今回その中身をしっかりと固めて、
00:32:41	早急に次のステップで、
00:32:46	40
00:32:47	4051 ページ以降か。
00:32:49	51 ページ以降はこれも、
00:32:51	上に審議していくと。
00:32:53	いうことでいいですかね。
00:33:00	中部電力嘉門です。例えば、45 ページまでを、今回の本体資料にして、46 ページ以降、
00:33:09	と今の補足を合体して、
00:33:12	補足っていう形に置き換えるのは、
00:33:15	そんなに難しくないので、カバー妥結つけて、
00:33:20	要は補足資料の中で、二つ、二部構成みたいになっていると。
00:33:26	いう感じであれば、すぐ対応できるかなと思っております。
00:33:31	ご議論いただけるのは 45 までであれば十分で、もし中身がみたくなればその
00:33:39	後段の補足の中に、
00:33:41	入れ込んでございますのでその辺りご覧いただけるかなと。
00:33:55	中部電力の森です。45 ページまでと、あとは各、例えばその活断層で言えばそのパラメータサジの方針なんかだとか、方針ページみたいのを少し、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:34:08	前に持ってきて、構成することが可能であれば、操作していただくとありがたいなと思っております。例えば今の本編資料でいくと、
00:34:20	35、35 回活断層、
00:34:24	1 枚紙ですよ。
00:34:25	はい。1 枚紙がありましてそのあとに何か、そうですねいわゆるパラスタ範囲、ちょっと 35 ページだと、何をパラスタするかも
00:34:35	あんま項目が書いてあるだけで、あまり議論も、
00:34:39	できないかなということもありますのでただ、
00:34:43	一方、
00:34:49	9、
00:34:50	91 ページ、ちょっと情報量が多いかもしれませんが、
00:34:57	91 ページ設定の方法をどういふふうにするかとかっていう方針ぐらいまでを入れさせていただく。
00:35:05	とかですね。
00:35:07	ちょっと先ほどスケジュールの方で、
00:35:15	91 ページです。はい。
00:35:19	そうですね。ちょっと
00:35:21	ここをゆずであるかそうですね。
00:35:26	さっきのスケジュールの方でもう、いわゆる箇条書き傾斜、いわゆる土木学会、
00:35:32	浦部の式でスクリーニングした後に選ばれた三つを土木学会の 2016 で基本の諸元を組んで、さらにそこにかいい活断層調査結果、
00:35:45	あれを使って
00:35:49	その情報も入れてパラメーター組んでさらにパラスタやりますという、多分書いてあるので、はい。そこに該当するようなものは少し前にですね、やってくる。先ほどのスケジュールのところの方針が議論できるようなものを少し前に、持って来させていただいていこうじゃないですかね。はい。
00:36:09	基本的には補足に、後のものを落とすということで、問題ないかと思っておりますので、少し議論できる方針に関するところを、前の方に持ってくさせていただきますと。
00:36:19	これは作業させていただきたいなと思っております。
00:36:23	はい。
00:36:24	わかりました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:36:26	じゃ、ちょっとスケジュールとの関係でいくと今回等のですね、ちょっと資料構成はそういうふうなところで、あとはですね。
00:36:35	ちょっと足を改めて少しガイド等の記載に忠実にというか、
00:36:43	いう形で少し全体を見ているんですけど、
00:36:48	まずあれですね今回は、一番のポイントは、もうこれはもう確認してま すけど、発生要因の組み合わせの部分、世界で一番初めの方でできます けど、
00:36:59	3市、
00:37:01	市があれかな。そもそも発生要因の考慮でこれは全部改良に書いてある 火山なので、地すべりのやりますと言って、
00:37:10	その次が312括弧1で、これ組み合わせですよ。組み合わせについて は、
00:37:16	今回プレート間と海域活断層、
00:37:20	米内木口加来なりCの組み合わせも実施するというのでこれ冒頭に資 料にも書いてあると。
00:37:27	て、
00:37:28	次がですね、ちょっとこれ、
00:37:32	スケジュールの方の、
00:37:34	企画で見た方がいいのかな、少しその先行プラントと
00:37:38	同じと。
00:37:40	書きつつですね、
00:37:42	どれだっけな、ごめんなさいねプレート、
00:37:46	海域活断層の方は、多分、
00:37:49	いわゆるプレート間プレート、太平洋側であまり海域活断層を、
00:37:55	やって、サイトはあまりないんですけど、一般的な日本海島縁部をなし と、別として、日本海側の方でもよくある。
00:38:05	甲斐火山層の津波評価のやり方とここは大きく、
00:38:10	変わってこないんですけど、このプレート内地震の方の扱いですねえ。
00:38:16	これが、ちょっとそのスケジュールの方を横置きながら、ちょっと範囲 を見ていくと、
00:38:23	スケジュールの7ページですかねプレートお願いします。
00:38:28	組み合わせ対象外、プレート間よりも小さいことを確認します。
00:38:36	これは回収的な女川女川でも詳細パラスタもやっている点で、衛藤2が 概略パラスタだけですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:38:43	多分そこと最後の結論が参っているなのでこの部分を多分先行審査と共通 って言うふうに言ってるのかなと。
00:38:51	次が阿部の不足式で、
00:38:54	検討対象を選定しますと言ってんだけど多分これ、女川も頭にも初めか ら、
00:39:00	SHOEI と三陸。
00:39:02	1 本なので、多分やってはないんだけど、海域活断層の方ではよくやら れてる方法なんでその部分は、
00:39:11	先行と共通って多分そそういう意味ですよ、これ。
00:39:15	プレート内としては多分、
00:39:17	何か複数選んでから選ぶっていう、選定するっていうのは多分初めてで すよね。
00:39:23	ちょっと一応女川と糖尿見たつもりなんですけど多分初めから、多分、
00:39:27	広報は 1 本だけで、
00:39:30	阿部の式使ってやってたなというのをちょっと、
00:39:33	その後やってたかそうですね女川も東海第 2 もそれぞれ昭和三陸しかあ りませんのでそれでやっているということで、
00:39:44	特に阿部の予測式で、相対的に大きなものを選ぶということは、やって ないと思いますね。
00:39:50	基本的に土木学会 2016 で阿部の予測式プレート間も含めてですね、津 波の大小相対的に選ぶときには、阿部の予測式を使うということが、
00:40:01	一般的かなということと、海洋プレート内に限らずですね、選ぶとき には、この式でまずは選んでいくということについては、先行審査と同 じかなということとでそのように記載させていただいています。
00:40:15	はい。
00:40:20	思います。ちょっと地震規模の方はちょっと少し後で本体資料の方を見 ながら、
00:40:28	後は元モデルの設定で、
00:40:32	敷地前面の外国で複数箇所を設定、この複数箇所についてはそっか、こ れは、
00:40:39	女川の概略パラスタ通りの概略パラスタと、
00:40:45	共通で、確かあってもあれかな共益の話を確認してたような気もするの でここは僕はそこが女川等には
00:40:53	先行ってということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:40:56	あとこのパラスタの部分なんですけど、この間のヒアリングでも少し話があったような気がするんですけど、梨本通りの説明をですねもう1回見てみると、一応彼らその、
00:41:07	あれは断層の位置と走向までだったかな、層厚までずる概略パラメータスタディとして、パラメータスタディをやっていて、それ以降のその傾斜とか、その他の滑り角とか、
00:41:20	そういうその詳細パラメータスタディは、
00:41:23	プレート間と火力プラスの段階で明らかに小さいのでやりません。
00:41:28	で、女川の場合は多分そこまで言えなかったのか詳細パラスタまでやりましたのか、もともと発生してるのが次自分と目の前の昭和三陸なので、詳細パラスタまでやったのかちょっとあれですけど、
00:41:39	多分素行かなと思ってて、
00:41:42	ちょっとここもですね、ガイドと突き合わせていくと多分、
00:41:47	断層の位置層厚って、多分、ガイドでいうと不確かさの考慮。
00:41:52	波源モデルの設定に係る多分不確かさの、
00:41:56	コールに多分半分片足突っ込んでるんだと思うんですよね。
00:42:01	何で不確かさの考慮のうち、
00:42:06	この部分を概略パラスタとしてやります。それ以外の細かいその郡のパラスタは、
00:42:13	不確かさの考慮、これから詳細パラスタに当たるんでそれはやりませんっていう、
00:42:18	一応頭に論理構成はそういう形になっていて、
00:42:24	他方で単なる確かに1だけだとすると、ガイドの
00:42:28	333 (2) かなってここも、
00:42:32	多分プレート内地震はその発生事例も少ないんで、プレ海溝軸のところでも、
00:42:40	起こりますよという、
00:42:42	そもそもそこがあるので、
00:42:44	そこの考え方を持ってきているんですなのか、ちょっとそこら辺、
00:42:49	ガイドで言ってるところのどの部分まで親、説明しようとしていて、やはり詳細パラスタやれと言うつもりないんですけど、
00:42:56	ちょっとそこら辺は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:43:01	別にガイドのこの部分ですって言ってしっかり資料に書いてもらう、いつまでは必要ないんですけど、ちょっとどこまでを、その説明聞いている、しているつもりで我々聞いているつもりなのかっていうのは、
00:43:12	ちょっとそこを聞かせてもらう。
00:43:19	はい。中部電力の盛です。
00:43:23	やっていることとしては7ページの断層の1枚、いわゆる波源の位置、
00:43:29	については、どこでも起こり得るということで、パラメータスタディ、ちょっと言葉はパラメータIIIと言ってませんが、まず一応、
00:43:38	決めるというのが津波評価の中で重要だというふうに思ってますんでそこについては検討する必要があるだろうということで検討しています。
00:43:47	で、ちょっとガイドの中で概略詳細みたいなことは多分ないと思うということと、活断層の方でちょっとあまり概略詳細ということもやらずに一気に全部ばつとやっちゃってるということもあるので、
00:43:59	1月決まっている活断層等、一部ちょっと絞れない、海洋プレート内ということで、まず位置を決めるというところで、同じ土俵に、
00:44:10	立てるところまでは検討するというようなつもりでいますんで、ちょっと1だけは不確かさとして考慮しているというふうに言い換えて良いかなど。
00:44:21	で、
00:44:22	すいませんもう1点、衛藤東海林との関係でいきますと、どちらかというのと、
00:44:28	検討してることは承知しているんですけども、今回土木学会2016の方のパラメータスタディの検討の順序をちょっと見ながら検討してまして、まず、一応決めた後に、
00:44:44	より詳細なパラメータスタディとして、走向、あと傾斜、あと上端深さの三つを振るというような順番になっていますので、そこまではやる必要がないということで、
00:44:55	津波評価に影響が大きい位置まででまとめているというようなことを考えております。
00:45:03	はい、わかりました。等にも、そういう意味で言うと、そうか、1、走向傾斜。
00:45:11	までを傾斜ごとやってるのかな、層厚も確かに頭には、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:45:15	プラマイジュウドで基準値から振っていて、妥当にほども多分やるまでもないほど多分大小関係、説明できるあたりがあるっっちゃうことだと思うんですけど。
00:45:26	わかりましたじゃここは、
00:45:27	いわゆる装荷断層位置走向傾斜、この辺りの概略パラスタと沼名付けるほどでもないってということで、基本は断層の位置をずらしていく話なので、
00:45:39	あまりその不確かさのコールのところに行きがちでふっ込んで説明しているというよりは、あくまでやっぱりプレート、
00:45:46	内地震の頭は県設定滴定かな。
00:45:51	多分そこでもう完結するぐらいの内容なんですかね、はい殿さんさん。
00:45:58	伴さん。
00:45:59	3回遅れないでいく等、
00:46:03	既往
00:46:04	愛遅れてないの発生事例は少なくその発生箇所特定することは困難であるかといって、海溝軸沿いのところでも発生し得るものの試算値設定。
00:46:13	しているかどうかというところで、もう単純にその海溝軸沿いのところでも起こりますと言ってずらしていく、もうここまでで、説明してるってそういうことですかね。
00:46:25	はい。そのような整理でよろしいかと思います。どこでもというところで一番近いところに置けばということはもちろんあるんですけども、解析やってみないとわからないということもあるので、それは精緻に決めていると。
00:46:37	というような、
00:46:39	考え方でやっております。
00:46:47	はい。
00:46:49	わかりました。でしなんで平面でずらす位置の話と、あとは、これも、
00:46:55	今日粹な話で、北西傾斜 43 頭傾斜 40 のところの 2 パターンということで、はい。
00:47:02	わかりました。
00:47:03	ちょっと次にですねちょっと同じように少しそのガイドに沿って、ちょっとこれももう必ずそうせよという。
00:47:11	ではないのだけれども、
00:47:16	組み合わせのところは、A と C を 1023 ページ、これ前回、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:47:23	聞いたんで、これはよくてですね。
00:47:31	組み合わせの時間差の方も前回聞いたのかな。
00:47:36	ええ。
00:47:38	どこだっけ。
00:47:41	ちょっと 22 ページかな。資料でいうと、
00:47:47	ちよつとここもう少しガイドとの関係で、ちよつと連動、ちよつとね、地震地震動ってタームが 1 条。
00:47:56	連動って出てくるのは本当多分 1 ヶ所だけなんですけど、
00:48:00	ガイドって、遠藤と組み合わせ連動が 2 ヶ所に出てきて組み合わせ 1 ヶ所に出てきて、
00:48:07	どこで説明すりゃいいんだよって多分なると思うんですけど。
00:48:11	分岐断層のですね、地震動ガイド上も多分普通に長大断層に対して、
00:48:20	周 n 遠藤でこれ分岐断層を見ていて、津波の方はプレート間のところの規定で連動分岐断層連動で考えなさいというがあるので、ここで見ていて、
00:48:31	多分これはモデルとしてそもそもそれぞれ多分一体連動させた
00:48:37	震源モデルなり波源モデル自体を、
00:48:40	組んでいるんでここは、
00:48:42	組み合わせ対象が結果として、
00:48:45	地震動と津波で当選地震動は近い方、敷地に近いものがでかくなるし、ファイア、多少近くなくても、長いものが組み合わせれば、
00:48:56	それは大きくなるしっていうことで考え方、
00:48:59	連動させます。それがそれぞれ影響、地震動評価上の影響と津波評価上の影響で選ばれるものが、言い方が違いました。
00:49:08	ということで、地殻内地震の方なんですけど、これも地震動の方は、断層モデルの地震動評価とかでもいわゆる連動ケースっていう形で、
00:49:20	御前崎海脚西部との連動とか 17 との連動っていう形で多分これ、赤井過程とかも含めて、モデル組んでやってるんだと思うんですけど。
00:49:30	これ、津波の方って、
00:49:32	これもう、あれから不確かさの考慮のところデータ連動って規定があって、そこ見ると多分破壊 8000 円って発生様式だったかな。
00:49:42	破壊伝播速度破壊伝播。
00:49:45	方法とか、多分がちで、加茂勝断層同士の多分連動を意識して、歌人こで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:49:53	その連動おさせる破壊様式化、
00:49:56	複数の震源が連動をして破壊が広範囲を得ると想定される場合には破壊様式括弧赤い電波方向破壊伝播速度に係る不確かさを考慮してるかどうか、
00:50:07	多分不確かコールの連動っていう言い方だと、そこに引っかかるんですけど、多分やろうとしていることは、こんなその測日を式とか、
00:50:17	破壊伝播速度破壊への伝播の方向、
00:50:20	とかを考えて多分プレート間と、
00:50:23	御前崎海脚とか因習断層 518 と多分国
00:50:29	評価したいわけじゃなくて、もう単純にそれぞれの単独でチャンピオンになったものを、
00:50:34	もう多分一体計算で組み合わせてやります。
00:50:38	ということで、ここは多分、
00:50:42	規定としては不確かさの考慮で行っているこの連動ではなくても発生様式自体の、
00:50:48	で組み合わせてるっていう。
00:50:50	それでいいですね。
00:50:52	はい、中部電力浜野ですおっしゃる通りで、22 ページに記載させていただいた通りで、地震動はもう、丹書記でその近くにあって、
00:51:02	そこがしっかり重なるってのを確認しているとで、一方で今鈴木さんおっしゃられた津波の場合ですとそれぞれ別々に起こってしまって、多少の時間差があって、周期が長いんで重ならないと。
00:51:15	正直何の影響も出ないと、いうことなんでここは地すべりなんかと同じように、同じ、それぞれ個別に起こったのがある、その地震が継続してる時間の中で、
00:51:27	ずらして起きた場合にどういう影響があるかっていうところを見るのが、その安全、
00:51:33	文化とか安全を確保するに一番重要であろうということで、地すべりと同じような考え方でやっておるといところでございます。
00:51:45	はい。こっちはもうモデルとして破壊様式云々ではなくても単に時間差でやります。
00:51:53	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:51:54	ていうのをですねちょっとあんまりここ言葉じりをここでとらえていやこれは原動ですか組み合わせですかっていうそこまで、1日はやりません。
00:52:03	はい。
00:52:04	次がですね、
00:52:08	わかりましたところもう、結局母数としては、海域活断層だから13かな。だから地震動も津波も、地震動は当然陸域も入るんですけど、
00:52:20	母数と、していて、
00:52:24	母数はだからすべての活断層、
00:52:28	地震動のフォーマル海域だけなのかな。いや母数としては海域のものはすべて同じで、単純にNodaを使うか便利を使うかで、それぞれ影響が、
00:52:39	大きいあり方を探したら、たまたま遠州断層と10、18は違って、御前崎海脚西部は共通でした。
00:52:49	そういうことですね。はい。
00:52:54	ここは一旦説明としてはこうなのでしょうねと。
00:53:00	はい。
00:53:03	何かあります。中部電力の盛です。地震動の方もすべてから選んでいまして、今回補足の76ページに、
00:53:26	活断層としてどれが地震動評価に影響が大きいかというのを載せさせていただいています。で、
00:53:32	過去の再掲になりますけれどもその中で御前崎海脚西部の断層の影響が最も大きいというのを確認させていただいた上で、不確かさとしてプレート間との連動ケースと、
00:53:43	いうのも検討しているというようなものを
00:53:46	参考として補足に掲載させていただいております。
00:53:54	はい。なんでね、この補足の76はない地震動なんで、特別に甲斐木田の陸域で分けてないだけ。結局、地震動も津波も、
00:54:06	母数としてすべて個数に候補に入れて、地震動評価上影響があるものを上位スクリーニングして、
00:54:13	組み合わせて、
00:54:15	はい。うまくそこは、
00:54:19	母数としてはすべて拾ってそれぞれの評価で影響が大きいものを選んだら結果が違う結果がたまたま少し違いましたと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:54:27	うだけですね。はい。
00:54:31	なので方針のレベルでいくと大体この辺、
00:54:35	ぐらいになるのですけれど、
00:54:38	もうちょっとこのプレート内とかですね、内陸地殻、海域活断層の方は、多分ほとんど寄与てらった評価をしてないんで、あとは次回土木学会の2016とか言いながら、
00:54:50	あとはその活断層調査結果を見ながら選んだ三つですかね御前崎海脚西部は、
00:54:56	多分地震動と同じなので、でも選んでるから、多分、共通となるパラメーターみたいなものは共通だし、それぞれの評価で別々に必要なパラメータは違うしってことで、
00:55:09	多分別々の評価にはしないんだと思うんですけど遠州断層と次、5、1818は、
00:55:14	多分今回地震動のところで、そんなに
00:55:17	もう
00:55:20	最浅い所で選定されてないので、多分地震動の方で、いわゆる断層モデルの諸元とかは、活断層調査結果から持ってきてないと思うので、
00:55:30	今回津波で初めて、評価上の
00:55:33	確認するんでちょっと地質し敷地周辺の地質の資料とかの、その当該断層部分ですかね。
00:55:41	ちょっとその辺は、もうこれ多分、次のちょっとそこら辺を見ながら、また次議論かと思ってますけど、ちょっとプレート内の方をですね。
00:55:50	ちょっと純粹にこれもガイドに沿って見ていくとどこに書いてありますかというのを確認したくて、
00:55:57	プレート内地震の、
00:56:01	ガイドの規定だとですね、ちょっと待ってください。
00:56:06	一応まず、海洋プレート内地震、一応プレート内部で生じるような正断層型と逆断層型の地震を、
00:56:15	ていうふうになっていてです。
00:56:18	多分女川と当院はともには同じなのかわかんないですけど女川のところの説明を少し見ていくと、多分311が起こって今ひずみや解放されたんで、今あちらの方では
00:56:31	昭和三陸もそうだし、多分今その正断層型のものが何かし発生可能性が高まっているみたいな説明があったんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:56:41	最後昭和三陸も正断層だったんで、結果正断層って選んでるんですけど、
00:56:45	一応、御社が今想定している名前が何だったかな。
00:56:50	想定。
00:56:53	御前崎沖の想定沈み込む海洋プレート内地震とかベースにしてるのが2004年の紀伊半島沖なんで、これはあれですかね一応モデルとして逆断層でくる。
00:57:04	てるんですかね。
00:57:06	ちょっと別に何か最後海溝軸沿いぎりぎりで1設定してるんで、あんまりこれって何か、この
00:57:16	概略で説明するので、何か逆断層型で、そこ正断層型でも同様の規模のものがあつたら初期水位が変わるのかっていうと、何かあんまり変わるイメージもないんですけど。
00:57:27	この辺りちょっとそのガイド上で、最後、選べという意味ではなくて正断層型の地震時はフランスの方地震ってこれ多分両方起こりえますよねと言って、
00:57:37	書いてあるわけなんで、ちょっとそこら辺で最後その選んでるもの。
00:57:42	いわゆる今まで多分逆断層型で、多分銭洲断層系も逆断層かな。
00:57:51	ちょっとそこら辺も含んでですねちよっとう、
00:57:55	最後選ばれているもので一応その検討はしたんだけど最後、これが、これを選ぶのがいいですっていう
00:58:01	そこら辺どう考えているのかなというのを見たいんですけど。
00:58:10	はい。中部電力の森さん。ガイド上で、政略両方検討をすることというのが、下、書いてあるかと思うんですけども、
00:58:23	基本的な沈み込みたいのも、
00:58:29	南海トラフのような負の付加体のような構造なのか日本海溝側の造構性侵食作用があって、すごくプレートが押し曲げられて下がっていくようなところと
00:58:40	どちらかと正断層型この押し曲げられる推し広がるところで、世良層は、
00:58:48	地震が起こると、南海トラフの方はあまりそういうところではなくて、結構低角にこう入って行って、あまり押し曲げられる効果がないので、ちょっとすみません、
00:58:58	難しい話になっちゃってるかもしれませんが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:59:00	正断層で起こるようなところではないのかなというふうには考えております。で、実際に起こっている、2004年の紀伊半島沖、南東沖の地震だとか、あと、その外側にある新津麻生形。
00:59:14	もう逆断層タイプの地震なので、逆断層タイプの地震を想定することが、合理的なのかなというふうに考えています。で、
00:59:22	ガイド上の記載もありますので、例えばその影響検討してみてもどのくらいだというようなことをお示しすることはできるかなというふうには考えております。
00:59:32	すいません杉田でございます。なので、ちょっとそのテクニクな違いとかですね、そういうのも検討されていわゆる類似となる国外の例とかですか。他のところでもなのか。
00:59:45	そこら辺の考え多分補足のホウトホかな、にも多分甲斐補足とか今、
00:59:51	13 ページ以降の説明のところには特にはないので、
00:59:56	そこは後、すぐ書き出してくださいというふうに、多分これ、次プレート内の説明する時だと思いますけど、
01:00:04	そういう考え方があった上で今これ選ぶことが合理的。
01:00:08	なのであれば、多分地震動でも当然、地震動ファイルでは正断層逆断層なんてプレート内のところに書いてはないんですけど、
01:00:15	当然今、当然過去起こった逆断層型の、
01:00:18	モデル組んでますよね。
01:00:20	3で改めて何か影響検討をした方がいいというつもりで言ってるわけではなくって、そもそも、
01:00:27	南海トラフ側で、
01:00:30	想定するものとしてはこの逆断層型のものがプレート間の海溝軸沿いです。想定するものとしては、この逆断層型が合理的だという、
01:00:41	それはそういう説明も書いてくれれば、
01:00:44	いいかなと思いますけど。
01:00:47	一応その逆断層型と正断層型とを考慮してくださいよと言って書いてあるので、考慮した結果、最後作るべきものとして逆断層。
01:00:56	だったんですっていう説明であればそれでね、あり得る話だと思うので、
01:01:01	ちょっとそこら辺の考えは次の時で結構だと思いますけど、
01:01:06	少し、何かあれですよ。そうそう一般的な等、何かそういうようなものを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:01:12	何か文献レベルでありますか。
01:01:14	あんまり。
01:01:16	難解な方で想定すべきものみたいになって。
01:01:20	どっか強制期間で出してもらいますか。
01:01:26	すいません。規制庁原田です。ちょっと。
01:01:29	ちょっとずれるかもわからないんですけど、っていうか、この
01:01:34	プレート内地震に関してですけど、例えば 60 ページ資料 60 ページ見て いただくと、
01:01:41	2004 年紀伊半島沖地震が
01:01:43	その最大の地震として想定して保守的に想定したとされているんですけ ど、
01:01:49	同じ海洋プレート内に、全日数にはやっぱり 120、御社が 126 キロとさ れている。
01:01:57	活断層と言われる傷があるんですね。
01:02:00	そうすると同じこのプレートが沈み込んで、現にこの 2004 年の紀伊半 島沖地震は、沈み込んだ、このテニス系の
01:02:10	活断層が、逆断層として、もともと逆断層か。
01:02:15	として、これから再活動した可能性も考えられると思うと、もっと保守 的に考えると、少なくとも、
01:02:23	三須断層系、
01:02:24	もうこのレベルの長さの断層を想定しないと。
01:02:30	駄目がってという意見も出そうなんですが、いかがでしょうか。
01:02:40	はい。中部電力の盛です。銭洲断層系も、
01:02:45	ちょっと議論の、
01:02:47	結果、風間調査、審査会合で議論していただいた中で、かなり離れて る、断層自体をつないで長くしているというようなところもありますの で、
01:02:59	できている場としても、沈み込んでいるところというよりはその外側で 活断層が活動しているところなので、
01:03:09	沖合のものと、南海トラフに沈み込んでいるものと、評価は分けるべき かなというふうに考えています。
01:03:18	菅単純に考えると同じものが沈み込んで、昔の前にこの何、何百、何 千万年前が何億年前か知らないですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:03:28	もう前にするのは、この活断層が壇上に沈み込んでるだけで傷が残っていると考えた考えるん。
01:03:37	んと思うんですけど、それはいかがでしょうか。
01:03:42	あんまりその、このアウターライズ側って言ったらいいのか開口事故外側と沈み込んだ後のプレートを、同じプレートなのに、その分けるっていうのはちょっと、
01:03:55	わからないっていうか私は、すみません。
01:03:58	中部電力の岩瀬です。ちょっと同じプレートというのもどう解釈するのかなかなかこの会議は難しいところではあるんですけども、
01:04:08	どちらかというとな銭洲断層のあたりっていうのは、次のプレート境界、それは伊豆が衝突してとかいろいろあります企画があると航路、
01:04:22	伊豆小笠原に影響を受けてるんですけども、どちらかというとな大構造になっていく可能性は何万年後か何億年後かわかりません。それはあるんですけども、
01:04:35	それを海洋プレート内地震と、
01:04:38	傷というふうに考えて評価する考え方は、基本的には、
01:04:46	いらぬ。例えば、例えばね、クリブなんていうとな手嶋海溝でいうとな、例えば 1994 年北海道東方沖地震が起こったところっていうのは、
01:04:56	かいう海溝の外側で、フラクチャーゾーン、破砕体みたいなのは、海底探査で見つかっていて、その沈み込んだところで、
01:05:07	スラブ内地震北海道と大きい地震のスラブ内地震が起こってさらにその深いところで、1978 年の
01:05:16	稲見瀬谷
01:05:18	塩田のこのフェリーと沖地震かというふうにな会議を海溝軸の外なフラクチャーゾーンで、何かこう起こっているというふうな事例もあったりするんで、
01:05:28	そう一概にその、
01:05:31	総否定。
01:05:32	完全に否定できるものなんですかね。
01:05:39	科学的にっていうか、もう現になこの 2004 年のこういうやつって、
01:05:43	そういうものが、昔あった、こういうものが、活動してると近いところで起こってるから、もう普通は何か考えそうな気がするんですけど。
01:05:55	いかがでしょうか。
01:06:02	中部電力の岩瀬です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:06:04	基本的には、
01:06:09	ですかね。
01:06:13	結構距離があって時代間が違うところの傷を、
01:06:17	将来、これが、銭洲断層系のところが、
01:06:21	何年か後になって、ここに来たときどうするかっていう問題はありますけれど、今現時点で見てる近くという意味においては我々この評価でいいと思っていますし、
01:06:35	もう少し言ったとしても、島弧地殻が沈み込んでる辺り、
01:06:43	浜岡の周辺なんですけどそのあたりを考えたときに、ほぼ数は結構大きな領域を、市は全部ような形で、
01:06:54	沈み込むをちゃんと横浜において、それなりの規模のものを見ていますので、基本的には評価できているというふうに考え、
01:07:02	今の近くとしてはこれ、
01:07:04	評価に基づいた評価としては、その評価でいいかなというふうに考えてそれはわかってるんですけど、結局これ沈み込んだ後ってというのは何年か前の傷で、それが傷がなかったとは、
01:07:17	言えないですよこれ。
01:07:19	考えてみたら、
01:07:21	中部電力の岩瀬それを言うとはほぼゼロの証明で、0の指定用にある、傷の一番長いもの方じゃ太平洋側のサイドは全部考慮しなきゃいけないんですかといった時に、でも調査不足とかそういう話でも、地殻内ではそうしてますよね。地殻内の
01:07:39	地殻内では、ものすごく長くつなげますよね。なんか地殻内では、今まで考えて何か考えられないけど前活断層海洋活断層を繋ぎますっていうことをやって、
01:07:53	でも、それで例えば、このあれでしたっけ。小笠原とかでもガーッと繋いでたりするけど、でも、
01:08:01	この
01:08:02	海洋プレート内だけはそういうことはしませんっていうのは、
01:08:06	中部電力の要請です我々の調査で今その場にあるものに関してはしっかり、
01:08:12	ちゃんとならないで、評価をしているというもので今言われてるのはちょっと別な議論じゃないかなと考えてます以上です。でも、はい。渥美ちょっとじゃああれかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:08:22	多分そういう議論は、にしてあって、おそらくそれはこれで私もね後でね、ちょっとなんか当人との関係聞こうと思ってたんですけど。
01:08:31	ちょっとこれ、
01:08:33	そろえる 2004 年の紀伊半島大きい等同規模、同一規模のものをその辺、
01:08:40	過去に起こって 1 回のその事例の同一規模のもので、直人シティがちょっと女川投入を見てみると、少しそれも推本の方とかでは、一応将来起こり得るものとして新規規模なんか、
01:08:52	あれかなたいと。
01:08:55	大変まで考えていて、
01:08:57	その上で最後なんか下駄を履かせて少し Mw8.6 に下駄を履かせて、基本モデル組みましたっていうのは女川通りではやっている。
01:09:06	多分、浜岡の方でもうそのちょうどピタリ、2004 年の過去 1 回の事例のものを最大規模だと言って、それが本当に今後起こりうる最
01:09:17	いわゆるコースしばらく後、最大だと言ったわけじゃなくて、多分保守的に下駄を履かせているんだと思うんですけども、ちょっとそこら辺がどのぐらいげたが入っているのかがね少しわかりにくかったので、
01:09:29	無限大で隠していくまで見えないでかくはなるんですけど、
01:09:33	ちょっとそう、その辺、
01:09:35	過去起こったもの。
01:09:37	も踏まえつつ、別にそれが最大な、その事例が未来永劫最大なわけじゃないので、
01:09:43	ちょっとどういう考え方でっていうとかねちょっと改めて聞こうと思っていたんですよ多分 54 とかその先の方だと思うんですけど。
01:10:00	ちょっと根井すいませんこの辺、無換算 Mw 換算が大体入ってくるんで、頭の中で暗算で計算できないんで申し訳ないんですけど。
01:10:10	ところをですね、
01:10:11	含めて、その実際に起こった事例等で、今回、
01:10:16	実際にそこ今度その地震動評価津波評価で、想定しているその規模だったりっていうところ、ちょっと違いもう 1 回教えてもらっていいですかね。
01:10:30	はい。中部電力の盛です。50 ページ 4 ページ以降、そう。
01:10:34	説明させていただきますと、
01:10:37	南海トラフの海洋プレート内地震規模の設定ということで、まずは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:10:43	フィリピンがプレート南海トラフで発生した海洋プレート内地震の最大規模が幾つかというような調査をしていると。で、先ほどから議論になっている M7.4 というのを、まずは、
01:10:55	確認しています。で、さらに、当該プレートとの特徴が類似した海洋プレート内地震で発生した最大規模ということで、こちら地震動の方でも説明させていただいてますけれども、
01:11:09	補足に載せているような、どこのプレートと似ているのか、似ていないのかというのを整理させていただいた上で、類似しているとしました。ファンでっかプレートの中で発生した地震の最大規模ということで、
01:11:24	M6.9 だということを確認していると、いうこと。
01:11:27	あと、もう一つ、③としまして、
01:11:32	先ほど鈴木さんからあったような、日本海高側の地震規模と地震発生層の厚さが違うということも、地域性を考慮した地震規模についても調査して、
01:11:43	スケーリングの観点から、M. 7M7.4 というのを想定しておくことが、
01:11:49	保守側として妥当だというようなことを確認しています。で、その上で、南海トラフの海洋プレート内地震の地震規模として、メタな、4 というのを想定していると。
01:12:00	ところです。で、
01:12:02	55 ページ以降個別に 1 枚ずつ今のスライドを、内容のスライドをつけているものになりまして、55 ページが、
01:12:12	過去どういう地震が発生しているかという、歴史記録も含めて入れているものになります。56 ページが、紀伊半島沖の地震の概要ということで、M7.4 なんですけども、推定されてる数値としては 7.4 から 7.5 まで、
01:12:29	MW としては
01:12:32	車があるものが、撤去の中には出ているというものです。
01:12:36	57 ページが、ちょっとプレートの違いだけになってしまってますけども、どれが類似しているのかというものを整理させていただいた上で、
01:12:45	赤色で 18 番のところマークをしていますけども、
01:12:50	Cascadia ノウハウで不可プレートで発生してる地震規模先ほど掲載させていただいています。
01:12:57	と、58 ページが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:13:00	海洋プレートの厚さの地域性を考慮した地震規模ということで、同じく日本の日本海溝側の海洋プレート内、太平洋側での発生している昭和三陸の
01:13:10	M-8.1 とのスケーリングの関係から、地震発生層の幅を考慮すると、
01:13:18	南海トラフ側のフィリピン外プレートで、目 7.4 というのを想定していくことは、等価であるというようなことを整理させていただいています。
01:13:28	で、59 ページが、じゃあ実際にどういうふうに想定するのかというところなんですけども、
01:13:36	上の箱ですねまず発生値が近いところに持ってくるのが前提だと。
01:13:41	ということと、地震規模については、今し方調査をした 123 の調査結果を踏まえて、
01:13:49	AMG としては 7.4 にすると、その中でも、地震発生規模については推定値がいろいろあるので最も保守的な値ということで Mw としては 7.5 の数字を設定していると。
01:14:01	いうところが地震規模に関する想定になります。で、
01:14:06	他サイト、日本海溝のサイトも、基本的には、過去地震というのを調べた上で、その中でも推定値、津波、
01:14:14	地震津波の
01:14:18	推定する際の過去地震の推定のまず新規模の中でばらつきがあるということ踏まえては保守的な設定をしているというふうに理解しております。
01:14:29	ああ、わかりました。59 ページで言ってるところやっぱり、これはもともとの規模としては、2004 年の紀伊半島きで、
01:14:39	その規模の評価に、気象庁なり何なり、それぞれ研究者のインバージョンにばらつきがあるので、その Upper をとっていますという、そういう説明なわけですね。
01:14:51	角谷委員、山路さんこれあんまり、ここって南海トラフ沿いの方ってプレート内の高津波系で、
01:14:58	何か
01:14:59	将来起こり得るものとしてはこういうものがみたいなそういう知見ってないんですよ、太平洋、
01:15:05	お墓の方だとやっぱり一旦地震本部の方が何か今後起こり得るものの規模みたいなやつの評価はあるんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:15:14	これない。
01:15:15	だからそういうものがあると値ベースがあってそれと同等ないしそれよりも上回るものを作りましたっていうことで、割と説明がしやすいんですけど、そういうのがないと。
01:15:25	実際、海溝軸の外側にあった断層は、沈み込んでいった時に本当にどのぐらいの規模で次、沈み込み始めてから地震を起こすのかって、多分、
01:15:37	希望区間は示す証明するものが多分ないような気もするので、
01:15:42	だからこそ、実際に起こったものの中から、
01:15:45	かつ、そこに対して保守性を積んで、評価するっていうやり方ぐらいしかないんだと思うんですけど。
01:15:51	ちょっとその少し規模感で、こういうものがベースとして妥当なんだっていうのがあるといいんですけどないですよ。
01:16:03	規制庁の山下です。
01:16:08	そうですね
01:16:12	参考になるような、
01:16:14	知見っていうのが今の手元にはないんですけども、
01:16:19	そうですね。
01:16:23	うん。
01:16:25	すいません中部電力天野でございます。先ほどの正断層逆断層の辺りも調査の中に整理する中で、
01:16:33	多少もう少し、
01:16:34	かけることを、
01:16:36	次回の審査に向けたヒアリングの中で、加えていきたいなとは思いますが、やっぱり銭洲卒他はもう調査によって場所は明らかになってる。
01:16:47	その長さをどこでも自由に入れるって言ったら、もう岩瀬が申し上げた通り、
01:16:53	どこでもできちゃう。何でもできちゃうんで、多分それは今までどこの審査とも違うんじゃないかなと思いますので、その辺りも少し、どう考えるかっていうところは、
01:17:05	追記はしたいと思っております。
01:17:09	58 ページにあるように、126 キロを見てやったら、では昭和三陸ってそれでいいのって議論になって、
01:17:18	女川もそれでいいのとならないかなということも考えますんで、双方の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:25	妥当性を記載したいと思いますなかなか、今鈴木さんおっしゃられたような山下さんもないよという、
01:17:34	プレート内がこれぐらいの規模感で起こりそうみたいなのは、知見としてはないんで、少し調べた上で、書けること渡していきたいと思います。
01:17:50	はい。多分その疑問として聞いているわけなので、
01:17:56	はい。実際に、いやそこまで考慮しろよと言って聞いているわけじゃないんですけどね。はい。
01:18:03	ちょっとそこら辺の規模感のところが、なんていうかあたりになるものが、すいませんプレート間の時もそうだったんですけど、
01:18:10	実際に起こったものが、その規模の問題ないわけなんでプレート間でも大分悩みましたけど、
01:18:16	ちょっとその辺りがあたりになるというかベースになる標準的なものがなかなかないので、ちょっとそこら辺の考えを改めてプレートかプレート内か。
01:18:26	説明聞く時次回の時までには聞かせてください。
01:18:29	はい。すいません長くそのあたり少し調査して、加えたいと思いますただ、今回の審査の中でご議論当然いただきたいのは、
01:18:40	もうプレート間地震が22メートル、22.7メートルという規模がある中でそこにもものすごく時間をかけて調査をして、今6メートルの津波が8メートルになることって、
01:18:55	その安全性という観点において重要なっていうと、そうではないんじゃないかなと私たちもやっぱり、そこはグレーデッドアプローチが必要であると思いますので、その辺りもちゃんと読めるようにしたいと思います。
01:19:07	はい。そうですねさっきの私も正断層逆断層のところで言ったのも、もともとしてくのか、びっくり説明がつくならそれで1名つけばいいし、説明がつかないからといって邪推搬送のものを作る価値が、
01:19:20	あるものなのかどうかっていうふうに見ると、多分それ正断層のものが送っても多分そこって影響は、
01:19:26	津波の評価水位としては変わら大きくは変わらないはずで、大きな変わらないんだったら、プレート間との大小関係が明らかに倍近く違うんだったら、もういいでしょうって、そういうロジックもちろんあり得ると思う。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:19:40	あそこあたりは、もともとそれでこそ多分冒頭で、そのプレート内については、あまりパラスターをやるのではなくて組み合わせ対象にしないのであるから、
01:19:50	ここはもうプレート間に比べて単体で大きく小さいということを、
01:19:54	示します。多分その方針に、
01:19:57	ぶら下がってくるんだと思いますので。はい。ちょっとすいませんね少しその外部のって、あとまだもうガイド上だと適切なスケーリングで、
01:20:08	規模を設定するとか多分、地震発生層の厚さを、
01:20:12	考慮してみたいな規定もあるんでそれは、まさしく、
01:20:16	スケーリングの説明も入ってたと思うんで、そこはまた伊賀のガイドとの、
01:20:21	対応箇所は、割と自明かなと思います。
01:20:26	はい。
01:20:30	すいませんちょっと一通りガイドとの関係で、電力の溶接部の前の論点の前でダンス活断層の方の、断層面の情報の
01:20:43	ところなんですけれども、補足の方の76ページに先ほど
01:20:48	進藤の体制、
01:20:51	の比較をお示しさせていただいておりますが、基本的に耐専スペクトルで X_{eq} を設定する計算する関係で、面は一通り、
01:21:02	張ってまして、
01:21:04	特に
01:21:06	18断層については褶曲構造のところの関係があったので、褶曲構造に対してどういうふうに断層面を張るんだってというのは、
01:21:16	地震動の方でご説明しているということと、逆に言うと地下構造調査結果に基づいて、当然張れるものではなくて、地表の褶曲構造がある。
01:21:26	ところとの位置関係で、ある種想定をしておいているということをご地震の方で説明をしているということでございます。
01:21:33	あとあるとすると、遠州断層系って横ずれで90度の断層なのでシンプルではあるんですけれども、我々がどんな情報を後持っていてこれを置いているのかというのが、少し補足で情報があれば欲しいと。
01:21:50	そういうことで、もう少し明示して欲しいという趣旨でしょうか。
01:21:59	そうですね。御わかりなものは、敷地周辺の地質構造で獲られたもので多分地質の段階でつなげるのもう繋ぎ切っていて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:09	地震動評価かつない、津波評価上で多分連動っていうのは、断層としてもやってないですよ。
01:22:16	そうすると、土台が同じ情報があって、
01:22:20	地震動で想定してるものと津波で想定して、震源モデル波源モデルって、
01:22:26	共通化できるパラメータは多分同じはずだし、地震動評価上でしか出てこないとか使わないのかなみたいな、それは多分それぞれ個別だと思うんですけど、
01:22:36	言ってみると断層の長さ、あと上端下端は多分地震動と津波でちょっと多分設定の仕方違いますよね多分地震動がマイナス。
01:22:44	20 キロ。
01:22:45	刀禰常務。
01:22:47	上が5キロでしたが20キロだったかな。
01:22:50	津波の方は多分そうではなくて土木学会使ってるんでその考え、設定の仕方が違うんだと思うんですけど、
01:22:58	そこら辺単に確認できればいいだけなんで、
01:23:02	何でヒアリング資料として次の会合で説明してくれと言うつもりはないんですけど、はい。
01:23:10	単純に地質の
01:23:12	資料のうち今回、俎上に上がってくる10、5、18、先週とあれ
01:23:19	10名あれっていうのはいないか。
01:23:21	あと御前崎海脚西武かな。
01:23:28	ちょっとその情報は、次までに我々も見ておきますっていうことで、でも基本はそこを多分、
01:23:34	考え方は変えてないはずですよ。当然地震動の方で考えてたやつと、あまり考えたので、パラメータの船戸の振り方は多分変わると僕学会の津波の評価のためのそのパラメータの振り方と、
01:23:48	当然地震動でのパラメータの出方が違うので、そこは変わりますが、多分基本となる情報は一緒のはずなので、その考え方ずれずらして作ってないですよっていうそれだけなんで、
01:23:59	そのさえ確認できれば別にいいかと思ってますけど。
01:24:09	はい。中部電力の森です。ありがとうございます。わかりました。
01:24:13	基本的にその活断層の調査に基づいて設定しているところっていうのは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:24:18	一緒のはずですので、長さだったり経営者の断面の傾斜だったりという ようなキッカ形状みたいなところは合っているので、上端あたり下端だ ったりというのはちょっと評価上どこが影響するかというところで変わ ってくるところもございますけれども、基本的に成功させ、
01:24:35	調査に基づくとところは整合させているという、ご理解でよろしいかと思 います。はい。以上です。
01:24:45	はい、そうですねはいはい。
01:24:51	曾田と一通り街道をなめるような形で、基本、ガイドの基本方針的な、
01:24:59	ところをなめるような形では、該当箇所来ましたんで、
01:25:02	ちょっと正断層型が逆断層型かあれで逆断層型を考慮するのがそれは適 当なんだという話は、これは次の会合ですかね。
01:25:11	に、少し説明を、
01:25:14	充実化しておいていただくといいのかなと。ガイド全体が見えるような 形で見ていくとですね。そうすと多分ちょうどうまく当てはまるんじゃ ないかと思います。
01:25:25	はい。
01:25:27	ちょっと資料の方あと先ほどそちらからも提案があったように少し海域 活断層の方ですかね。
01:25:34	そのパラメーター土木学会 2016 でモデルを組んでパラスターやるんだ という話は、ちょっと今冒頭の概要版前半部分には出てきてないので、 そこら辺を入れておくと。
01:25:45	多分、スケジュールにも書いてある津波評価の基本方針ですかね、海域 活断層の基本方針、ここに書いてあるような内容は、
01:25:54	今回の説明資料の本体側にも送るということで、
01:25:58	それは結構じゃないかと思ますし、その方が多分方針を確認して、こ こまでの考えはいいよねっていいよねっていうわかりましたというよ うなお互いでキャッチボールができるかと思ますので、
01:26:10	はい。ちょっと細かい表現はあるのかもしれませんが、私からは一通 りは以上です。
01:26:17	すいません他確認しておきたい点とか、少しこの表現はというのが何か ある方いれば、
01:26:26	何度もすみません、規制庁の原田です。31 ページの敷地周辺の既往津波 で、
01:26:34	2011 年の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:26:37	東北地震で御前崎で、
01:26:40	1.4メートルの津波があったと思うんですけど、津波高1.4メートルあったと思うんですけど、これは、はい。入れないと駄目な気がするんですが、いかがでしょうか。
01:26:58	すみません中部電力もいつももう一度お願いできますか。
01:27:01	1年東北地震の津波が、御前崎港で1.4メートル、津波高があったんですけど、記録されてるんですけど、
01:27:11	これもエンジンに入るのか。
01:27:13	日本海溝沿い都市のプレート間地震とするのかわかんないんですけど、
01:27:18	それに入ってないと。
01:27:20	これはいかなのかなとはちょっと思いましたが、いかがでしょうか。それほど大きくはないんですけど。
01:27:29	はい。中部電力の盛です。はい。おっしゃる通りでちょっと分類、どうするかということはあるかもしれませんが、情報として追加させていただく方が良くと思いますので、そのさせていただきます。
01:27:40	よろしくお願いします。
01:27:43	中部電力浜野です
01:27:47	反映をいたしますけどこの表では、それぞれ、
01:27:51	領域で一番大きいというところでおっしゃられると原田さんおっしゃる通り日本海溝が入ってないんでそこで入れておきたいと思います。あくまで、南海トラフでは5から10メートルって希望全然違うんで、
01:28:04	参考の辺りになろうかと思いますが、そこは対処させていただきます。
01:28:14	はい。そうですね。これは実際観測されているのであれば、はい。それは変えて、
01:28:20	書いた上で影響は何かっていうの大きいっていう、多分、その、
01:28:25	うん。
01:28:25	論理で説明いただくんだと思いますけど、はい。
01:28:28	いたしました。
01:28:31	何かありますね。
01:28:34	どうもすみません。原田です37ページの、ちょっとこれは、ごめんなさい。質問っていうか、あれなんですけど、敷地前面でこの層序で、
01:28:45	計算されたので、最初に12.7メートルのピークが出て、それから、何て言うか、水深で言うと、何メートルかですとこれ、
01:28:56	一定になっちゃってるけど、これは、何ていうか計算上の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:29:01	限界っていう感じになるんでしょうか。
01:29:05	はい。この
01:29:06	例えば、すぐ近くの汀線付近だと、5メートルぐらい前後で波が前後しますけど、
01:29:13	結構その一方
01:29:14	のピークの後はもうほぼ、直線のようになっちゃってて、何か
01:29:20	この訴状の、
01:29:21	いろんな
01:29:24	境界条件の、
01:29:26	あれで、なかなか、
01:29:27	難しいところあるんですけど、これはまあ計算上のっていう感じで、
01:29:33	よろしい、理解して中部電力の加藤です。
01:29:37	こちらの敷地前面の防波壁地点での、
01:29:49	すみません 65 ページでちょっとご説明させていただきますけども、
01:30:00	こちら沖合から敷地までの断面図ということで、ポンチ絵をお示ししておりますけれども、この棒廃棄と書いてあるところを、
01:30:10	における最大値がここに 11.7 メートルあるわけですがその地点における時刻歴アケイということで、その第一波のところでピークがドンと来るんですが、
01:30:20	そのあとは引いていきますがその前に砂丘がありまして、その先のところに水がたまっていて、第一波目に大きくなった地点では、水がずっとたまっているような状況で
01:30:33	この 37 ページの 7 点目の中国ろうきんは経理は大体 10、
01:30:38	2 メートルぐらいですか、ちょっとこれずっと推移が続いてると、いうような形になっております。
01:30:44	わかりました。ありがとうございます。
01:31:06	はい。そろそろですかねスケジュールの、
01:31:12	方の話も、工程の話もしようと思っております。
01:31:16	津波の方は先ほど言ったのは 6、
01:31:22	6 ページに書いてあるのはすごく一般的な話なんでこれを少し、これを
01:31:30	1 で 7 ページもさっき佐瀬これに沿って確認したんで、
01:31:34	あとは組み合わせ、
01:31:37	これも今回聞いているのと同じかな。
01:31:42	表現も多分そんなに変えてはいないですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:31:48	はい。
01:31:53	はい。
01:31:53	じゃ、その津波の方の、このスケジュール化工程なんですけど、ちょっとついでなり地震動も一緒に聞いてしまいますけど、
01:32:02	これ一応菊地に向けて、
01:32:08	耐震設計耐津波設計と方針を説明するために、多分地震動が決まったり基準津波が決まってから説明資料を作ったりして、
01:32:18	行く準備期間もあると。
01:32:20	一応そういうのを逆算していく、あと耐震設計方針の説明にかかる時間と耐津波設計方針の説明にかかる時間とか、
01:32:28	そういうものを逆算していくと。
01:32:31	一応地震動と津波高ずらしてるんですけど、これアパートのものを逆算して、時期をずらしているから単純に今の現時点での進捗が、当然地震動の方が進んでるから、
01:32:41	その分がこの9月、11月とかっていう形で基準地震動基準津波のエンドライン、
01:32:48	ですかね、ここに設定しているのか、ちょっとその辺りはうちなんですかね。
01:32:52	はい。中部電力浜野でございます。まず、耐震設計方針のところ耐津波設計方針の資料は、一通りもでき上がっていますこれは、
01:33:03	尾野審議官所と内野プラント班が調整してまして、昨年来から地震動と津波が決まったら、プラント班再開をお願いしたいということで
01:33:16	一応形としてはできています当然まだ美酒 Ss も津波も決まってないの微修正ありますが大枠はできているというのが現状です。で、
01:33:27	ずらしてるのは、工程通りでしてまず SS の方が進んでるので9月末に清掃決まって
01:33:36	いけば、対耐震設計方針の方が先に始められるであろうということで、赤い矢印でまず緑の耐震設計方針を、
01:33:46	スタートさせ、それに遅れて津波が決まってくことで、対津波設計方針が少し遅れて進むということになっておりますので、
01:33:56	これ内藤管理官と面談した際も、やっぱり、
01:34:00	普通に考えて、耐震設計の数が多いだろうと、対津波設計ってのはあくまで防波壁だとか、津波に関わる設備だけなんですけどそういった設備も当然耐震設計はしなきゃいけないんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:34:14	方針議論するって意味では、まず Ss を決めてあげれば、プラント班の方がスムーズに開始できるのではないかというアドバイスもいただきまして現状の進み方も含めて、
01:34:26	まず地震動をしっかり、9月までに決めていきたいなという思いで記載させていただいております。
01:34:35	はい。
01:34:37	そうすると一応この9月、11月というそれぞれのパブエンドラインを、
01:34:43	あそこにちゃんとたどり着けるようにするとすると、多分それぞれの階です。ねこの黄色の会合でこの会合では、
01:34:54	何があってもここまでは決めておかないと、ていうか多分ここで、
01:34:59	決めておかないと、それが1回ずれると、多分全体の工程に影響を与えるものと、
01:35:04	多分、
01:35:05	例えばですよ、火山現象とかプレート内とか、何となく疑問が残りました。というって付けが残ったとしても、別に組み合わせに、
01:35:14	経営候補にならないわけですよ。広報流れないから別にそれがどうあれ、多分組み合わせの計算を、
01:35:20	結果には影響しないので、多少リカバリーがきもの多分あると思うんですけど、
01:35:25	そういうところを考えるとその各階で何を目標というか、この会では、こういうものを成果として出していきたいんです。っていうのは、説明する項目あるんですよ。
01:35:36	説明項目あるんですけど。
01:35:37	もう、地震動でいうと、多分特定せず6月会合ではこれ増幅のさせ方。
01:35:44	増幅した結果、
01:35:46	であれ全国共通のものの評価の結果増幅係数増設のケース。
01:35:51	さらには、地域性を考慮したものは
01:35:54	対象になりませんという多分そのフルパッケージで、この6月の会合で、
01:36:00	多分議論をし尽くす前提で多分その目標が達成できないと次に基準地震動の説明がステップとしていかないわけなので、そこダウンそちらとしては
01:36:12	その成果として上げたいんだと。
01:36:15	こと、あとで地震動の方はどうかという、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:36:18	8月の、多分このぐらいの次の理事会ですかね。
01:36:24	多分免震 SsL の
01:36:27	どうするのかというところは、
01:36:31	今、そちらとして作らなくて良いなんですけど、そこについて多分白黒を使わないとこの会でつかないと多分困りますよねっていう。
01:36:40	あとは、応答スペクトル断層モデル、震源特設する、これはもう評価したものなんかはチャンピオン掲載ありますが、基本は変わってないので、
01:36:49	ここは一応1回分バッファーとってあるんですね一部コメント回答まとめてなっているんで、
01:36:55	あんまり、
01:36:57	少し、
01:36:58	地震動でいう等何だったかなあ、一部ちょっと新規、新規じゃないんだけど、
01:37:05	あれですかね少しその水平鉛直比の話だとかああも多分、
01:37:10	浜岡こういうのってことで5ページに、
01:37:13	上げている想定、それはいわば、
01:37:17	基本的に選んで、
01:37:20	チャンピオンケース。
01:37:22	Ss-D を超えるものか、Ss-D こういうものから3票ケース選びますということであれば、あんまり気をてらったことはやってないんだと思って、
01:37:32	プロジェクトII やっぱり次の特定せずのところ、ここはきちんと固めない。
01:37:39	次の基準地震動は2回分あるので、
01:37:42	再計算、計算が必要な、何、何て言うか、議論は、8月のところで詰めきれないといけないけれども、最後の最後、
01:37:54	これです。
01:37:55	1回分バッファーが取ってあるっていう、そんなところですか。
01:37:59	はい。中部電力天野ですおっしゃる通りで、まず、地震動でいけば、次特定せずは何とか6月の時に、概ね妥当という評価をしていただきたいと。
01:38:12	思っておりますので次回、ヒアリングをやってご確認いただく中で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:38:20	わかりにくいところだとかです。ね。そういったところはしっかり、私どもでキャッチアップしていきます。何とかここを仕上げたいので、7月からは、
01:38:30	最後の基準地震動の議論に入りたいと、いうふうに考えておりますので、
01:38:36	今鈴木さんおっしゃられた通り5ページに、今後論点となり得るであろうというところは、しっかり、我々の考え方も記載させていただいて
01:38:46	ただ、予告編みたいな形で入れさせていただいております。こちらについて、7月ぐらいからヒアリング開始して実際、こういうふうになってますよということを、
01:38:57	を見ると具体的な資料でご説明して参りますが、今回、ある程度そのイメージを上の方にも持っていただくということで、
01:39:10	1回目の審査会合の中で、どこがおかしくてどこを、
01:39:15	直すべきかというところはしっかり1回目の審査会合でご議論いただければ、8月はそれらを取り入れて仕上げに入るというような形で、鈴木さんおっしゃる通り、
01:39:28	もっとこれしっかり作り上げていきたいという工程を記載しております。で、津波の方は、
01:39:36	同じように、次回で一番重要な組み合わせの奉仕のところと、活断層とプレート内の更新についてご議論いただくことで次、
01:39:47	もう資料できてますんで、今日いただいたようなご確認事項資料に反映しつつ、活断層とプレート内で地すべり火山の方はコメント三つ残ってますんでここ、
01:39:59	返すという形でね、やはりおっしゃる通り17活断層のパラスターがどこまでかというところなのでそこをしっかり
01:40:09	仕上げていきたいなと思ってますが、ただ一方でそこで、例えば追加でもう少しこういう解析をした方が良いということが審査会合で出たときは下に赤い矢印で、
01:40:20	書いてる通りで、組み合わせの際に一緒にその計算も、
01:40:25	実施した上で組み合わせもやるという両方やっていきたいと思っております。プレート間の時に1000何百ケースもやるわけじゃないので、割とスピード感持って、
01:40:36	対応できると思うので、ここでfar取りたいなと思ってますんで、当然合わせて10月とか11月に最後入れてますんでこのあたり、細かいものっていうのは、当然拾っていくというような形で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:40:49	今のところは考えているところです。
01:40:57	はい、わかりました。
01:40:59	あと 10 ページ残った赤文字等、
01:41:03	赤文字以外と何かこのこの違いなんでしょうか。
01:41:06	はい、渋谷でございます。すいません。赤いのが、
01:41:10	非常に重要な論点があるかなというふうに気を持って、記載をしております黒いところは、ある程度議論も進んでいる或いは、
01:41:21	津波でいけばプレート間との組み合わせに影響するところだから、活断層を赤くした方がいいのかもしれませんがそれ以外は組み合わせがあるわけではない、或いはもう大体、
01:41:32	議論も進んでいるというところを意味しておりますちょっとそこわかるようにしたいと思います。
01:41:42	わかりました。今回は、組み合わせの方針、それに、
01:41:49	応じた海域活断層プレート内の評価方針で、理事会その次は、確か海域活断層の地すべりや何としても、
01:41:58	組み合わせ対象となる、水位というか波源というか、
01:42:03	は、そこは特定しなくて、
01:42:06	そんな特定できればアトワスの組み合わせ計算計算をまわして、
01:42:10	少し一体計算でね今回やるんで、少し時間がかかりますけど、
01:42:15	やるのであそこが固まらないと。
01:42:18	組み合わせの計算ができなくて、後に多大なる気を与えると。
01:42:22	そこを死守したいわけですねはい。
01:42:25	わかりました。じゃあ、あとすいません一番最後の基準津波のところを、これ基準津波選定の妥当性ところで出てくる、行政機関の津波と津波堆積物との比較がある、あって、
01:42:38	いやあの津波堆積物の上限昇降はもう決まって、ほぼ決まっているんですけど、津波堆積物の資料も一応付出しになってましたよね。あれわあ、
01:42:49	いつぐらいに。
01:42:51	入るんですか。
01:42:54	はい中部電力もですの資料としては整理はしておりますので、
01:42:59	例えばプレート間地震の津波のまとめと併せてやる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:43:05	のかなというふうにイメージはしておりますが、ちょっと物量の問題が出てくるかなと思って最後のところでもいいのかなというふうに考えてましたが、また、
01:43:17	進捗しながら、ご相談さしあげたいなっていう
01:43:21	感じでした。
01:43:24	はい。優先順位としては最後の結論のせひに影響しないであろうという見通しはあるので、
01:43:33	そんなに急いでないということだと思うんですけどちょっとどのタイミングではめ込むのかって、津金最後一応基準津波として、これです妥当性を確認しましたって説明しようとするときには、
01:43:44	必要なものなので、
01:43:46	一応このスケジュールでいくと何かそこまでをやってから、プラントに引き渡してっていう形になってるので、
01:43:53	組み合わせが多分決まると、ほぼほぼ、
01:43:56	あと基準津波の定義地点が決まれば温度と基準津波決まる。
01:44:00	とは思うんですけどね。
01:44:02	一応基準津波というものをちゃんと固めて、プラント班っていう形になるということで、
01:44:08	だとするとこのちょっとエンドラインまでには、
01:44:12	説明あるのかなあという。
01:44:14	はい。はい。中電の加茂でございます。今笹木さんおっしゃっていただいた通りでやっぱり基準地震動自体はしっかり決まっているっていうのが、
01:44:24	プラントパニックの重要なんですけど津波の場合ここでいうと津波の組み合わせがある程度、規模感が出ていて、それに対して、
01:44:34	どういった対応していくかというところ、当社から
01:44:39	CEO か。
01:44:40	会談等でちゃんと発言をすればあとはプラント班の方が、そこを見越して、進めてくれるか否かという議論に持っていける。
01:44:51	ので、完全に基準津波が確定していなくても、最終的にこれぐらいの高さ、要は江藤。
01:44:58	文章まとめのところの整理っていうところはプラント班に移るときに、キーになるかならないかというところは、今後の調整かなと思って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:45:08	おります。聞いている限り、そこよりはまず規模感がちゃんと出てれば、当然、
01:45:14	プラント班はいけるんじゃないかというようなお話も聞いてはいますので、何とかそこまでを、この秋までに進めたいというのが思いです。
01:45:26	はい。なので、ちょっとここも、その設定担当は池見リーダーD 結局どの情報まで、基準津波定義位置が9名。
01:45:36	て波源が決まらないとこう。あくまで設計上の入力津波だったらねそこから出す話になるので、
01:45:42	そこをきちんと固めてくれないと設計上の入力津波を出せませんようなのか。
01:45:47	ある程度規模感がわかれば設計の議論は、検討は社内的にはできるということなのか、ちょっとそこら辺も踏まえてですね。
01:45:55	ちょっとどこが最後エンドラインとして重要なポイントなのかこの組み合わせのところの黄色が重要なのか、基準津波のところの最後の赤の方、これが重要。
01:46:05	なのか結局そっちが決まらないと基準津波として決まらないといけないのかっていうのは、ちょっとそこら辺は僕までプラントの話ですけど、
01:46:14	そんなご検討いただくといいんじゃないかと思います。
01:46:18	承知いたしました。はい。
01:46:21	引き続きですね、ごめんなさい、5 ページ目その地震動の方の
01:46:26	方針のところちょっとここです機器、申請時からっていう、
01:46:32	変更変更なしみたいのが何ヶ所か出てくるんですけど、
01:46:37	これって
01:46:39	方針として変更な強いというのは結果として変更なしっていう方で書いてますかね、何ヶ所か出てくるんで、応答スペクトル S_s-D のところていくと、
01:46:50	当初へ申請から変更なしで、さっきの話だと
01:46:56	結果として変結果の、
01:46:58	結果が変更なし、中断層モデルの
01:47:02	用いた手法の地震動評価結果は、当然申請時よりもでかくなるんだけど、
01:47:07	ただ、 S_s
01:47:08	でそういうものを踏まえると SSB は申請時から変更もありませんっていうと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:47:14	何となくもともとの Ss-D がでかければそうなる可能性もあるんですけど、ぱっと見印象よくわからなかったんで、
01:47:21	ここ結果に欠陥法も変更がないってということなんですよねこれ。他電力の岩瀬ですおっしゃられる通りで、Ss の最後の形が変わったか変わってないか。
01:47:33	ちょっと単純に書いてしまったので、
01:47:36	わかるように少し表現については修正したいと思います。これ当初申請の Ss-D 括弧をエスワンから変更なし。
01:47:44	Ss 数の方も変わらないのか、Ss-D カッコ SS II の方も変わらないのかな。
01:47:52	両方変わらない。中部電力の岩瀬 Ss-D は Ss は持つも変わらないです。はい。それ以外が変わると。
01:48:00	シンプルに言うとそういう、
01:48:05	応答スペクトルの方で何か他にも作ってました。
01:48:09	応答スペクトルは、ワンと通の増幅ありなしが1個ずつあるんですねだからこういう書き方でいうと、Ss、B 括弧 Ss ワン括弧閉じってというのが1個で、
01:48:20	上のなんか免震の方見ると、あれですよ Ss-D カッコいいスワンって書いてある。
01:48:27	どっちが先な名前名付けだったかちょっと浜岡名付けが特殊なんで、
01:48:32	あれですけど、
01:48:33	はい。
01:48:34	Ss-D の増幅係数増幅なし係数がそれぞれ一つずつで、それは申請時から変わりませんっていうことをですねここは、
01:48:43	当初申請から Ss-D の変更はありません。
01:48:47	のが、Ss はい。
01:48:50	変更なしで、次は特に書いていなくて、
01:48:54	その次は、
01:48:59	ここはだから設定値が、
01:49:01	変わりました当初審議会設定値が変わりましたという意味で、
01:49:05	その次の断層モデルのところは、
01:49:09	当初申請から変更。
01:49:12	で、ここは多分、孢子策定の方針は変わってないですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:49:19	そうですね。変わってないですけど、結果が変わりましたってことですねここはい。
01:49:24	応答スペクトルの方は多分方針も変わってないんだけど、結果も変わってません。
01:49:30	けことですよ多分応答スペクトルの策定方針は、Ss ワンツーについて設計応答スペクトルはっていう、この辺は多分方針としても何も気をてらったものではないので、その方針も変わってないし、
01:49:43	一応、応答スペクトルの個々の評価と断層モデルのこの評価が変わったんだけど、結果として強い Ss-D にも変わりがなかったっていうのが、そうですねはい。
01:49:54	うん。
01:49:56	出た。
01:49:57	へえ。
01:49:58	最後の下の特定せずは
01:50:01	当初申請から、これは標準応答スペクトルになるものが入ったし、留萌のところの加来加藤スペクトルの話も変わったので、これは考え方として、変わってるし、
01:50:13	最後選定から選定だけなんで標準応答スペクトルというものが入ったことによってそこが変わったのか。
01:50:20	結果も変わったと。
01:50:27	あと、これ適正かというかあんまり事務なことを惹起しないように断層モデルのところなんですけど、
01:50:36	何か施設に与える影響を考慮してみたいな、多分もう、いや、これ何かその Ss が多い、上回ったもの。
01:50:44	さらにその中で複数余ってた上回ったもの同士で比較して何か最後チャンピオンを選びますっていう普通のやり方、
01:50:53	を多分やるんですかね、であれば何かあんまりその、
01:50:57	施設へ与える影響でことさら書かなくても、
01:51:02	いいかなあと。
01:51:04	いや
01:51:06	いや、別にここ 1 ヶ月ぐらいの別の最初の話ではあるんですけど、
01:51:12	はい。
01:51:13	多分あんまりその厳密にこの段階で施設の影響が大きいのか小さいのかみたいな話をしたいわけではなくて、説明、直接見使うんだから、施設

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	への影響を考えると、それは Ss は上回ったものの中ででかいものを選びますよねっていう。
01:51:27	阿部田井のある書き方ではないと思うんですけど。はい、承知別に書いて、機械的にこう、
01:51:34	Ss-D を上回るケースから、その中での最大のものを選びますっていう、機械的にあります以上で、別にいい気は。
01:51:42	するので、はいわかりましたって書かなくてもいいんじゃないかと。
01:51:45	はい。
01:51:50	阿藤。
01:51:52	SsL というかガスタービン建屋のやつなんですけど、一応ここで実際のもう実物があるので、実物がこうなんですという説明はしているんですけど、
01:52:04	これ、耐震設計方針として、
01:52:07	さっき説明は以上だと。
01:52:09	1 秒から長くても 2 行ぐらいまでのこういう周期って言ってました。なぜ多分ここ、
01:52:15	であれば多分、その場合に着目しても 5 秒以下っていうロジックなんで、どういう設計方針にするか検討されるんでしょうか。これ多分耐震設計方針として、こういう設計方針ですと、
01:52:26	GTG はこういう設計方針ですっていうのを、
01:52:29	設計方針を示した上で、従って整理作りませんっていう、そういうロジックにするんですかね。
01:52:37	ジェイと中部電力の岩瀬です。ちょっとこの資料でどうするか。
01:52:42	は、まではちょっとある意味考えられてなかったんですけども、審査資料としては、もうできているものがあることもあるので、免震、
01:52:52	構造がどういうもののかの概略を示した上で、
01:52:55	その固有値が今こうですと言って、
01:52:59	策定後、この方針を者話そうと思っていたんですが、今の鈴木さんのお話をお聞きすると、
01:53:06	今、こういう固有値の免震構造ですというものが、それが設計方針だという言い方をした方が、
01:53:14	ここの方針として理解しやすいっていうそういう趣旨でしょうか。
01:53:19	いや何かものがすでにあるという、福崎清の普通の許認可の流れだと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:53:26	当然許可の段階では、当然物が本来はないはずで、基本設計方針にしてここになると、当然その基本設計から外れない。
01:53:37	費用に設計してその時に、厳密な出費が、
01:53:42	来るはずなんですけど、今ものがあるので、実は答え合わせができてしまうわけなんですけど。
01:53:47	ただ許認可上は許可上のは、
01:53:52	本来そのなんか率がすでにあります。だから、これですっていうのは、審査のまとめ資料とか審査会合資料で説明してる実態こうですよって説明できる分には、
01:54:02	説明していくのは結構なんですけど、
01:54:05	最後その SsL が行かない必要ありませんよっていうその基準ガイドとの関係でいくと、
01:54:12	これは何か設計方針として、こっちに我々に説明というのは多分、耐震設計の方で、
01:54:18	設計方針として示すので、当然その実現の見通しはっていうかもう実現しているというものがあるんで引き継ぎしてるんですけど、ちょっとそこ最後申請上、
01:54:28	頭を変えて従ってなんてこの概念侵害の適用期限でいうとその免震の地震動の提供はさしなくていいんですけど、
01:54:40	うまく
01:54:42	うん。
01:54:44	中部電力で担保するのか、もともと設備として免震とは書いているけれども、別に基準上、必ず SsL をつくれと言ってるわけわからなくて必要があれば、
01:54:56	作りなさいと言ってるんで、あす要請がないこと必要がないことだけを説明すればいいから、それは別に設計方針として示さなくてもいいと思ってるんですなのか。
01:55:07	この辺は別に今回じゃなくてもいいですけど、
01:55:10	中部電力の岩瀬です前回のヒアリングで少し、名倉さんから言われたんですけれども、
01:55:18	2 番をしても 5 秒以下の施設に、を対象とした地震動、
01:55:25	要は対象が絞ってるなら対象を絞ってることを明らかにすべきだというご示唆を受けていますので、ちょっとターゲットがここまでだという言い方例えば、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:55:35	2倍をしても5秒以下となる免震構造を対象としてしか、我々は使わないので、今の今回の許可の中では手元ですけれども、
01:55:45	今回は別途作ることにはしない、ただ将来、その他の免震構造をつくるときはそれはまた別の話だよということを方針としてわかるように少し記載できないか検討してみたいと思います。ありがとうございます。
01:56:00	わかりましたか。
01:56:02	施設側で各土曜日は地震動のこの範囲、どういう、
01:56:07	対象物を念頭、どこのはでの範囲のものを念頭に置いた地震動を作ってるんですってそっち側の説明ですね。
01:56:14	今考え方はわかりましたはいはい。
01:56:17	さて、
01:56:19	芦田さんすいません多分後ですね。
01:56:21	他。すいません、地震動と津波の部分のこのスケジュール感とか、この辺で確認する点がなければ、ちょっと最後、
01:56:30	破碎というか、1断層の部分のスケジュールだけ確認したいんですけど、
01:56:37	はい。
01:56:42	なんで、
01:56:46	えーっとですね。
01:56:47	こんぜ資料のもうスケジュールでいうところの前半。
01:56:52	3ページのところに現状のステータスが書いてあって、
01:56:58	ちょっとこれと後ろの方ですねえ。
01:57:01	見比べていくとどうかということで、
01:57:06	3月9日からの状況の、
01:57:10	更新赤字示しますとって、何か3月9日から、今やっている対応状況が、何か変わって、
01:57:19	いないのだけれども、
01:57:21	ただ、次の説明はどの段階でいるかというところと現在進めている追加調査の結果が取りまとまった段階で、
01:57:28	再補助説明を行っていくと。
01:57:30	何かこれを実際の積み起こした10ページを見てみると、
01:57:35	小追加調査、これずっと従来からずっとやってたやつですよ。
01:57:39	これが今50メートル盤の話とBF1の1断層確認だから、ここBF1-1断層の確認っていうのこれ多分

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:57:50	現地確認時に見てきたその新規の、
01:57:53	1断層のことですよね。
01:57:57	他方でこの下に4月の途中から新たに、
01:58:02	追加調査というバーが11月まで走って、
01:58:06	していて、
01:58:07	ただ中身を見てみると、PH1、
01:58:11	周辺BF4広域って、多分比木南とか宮内とか、このあたりもすでに何か確認が始まっていたような気がするのですが、
01:58:22	これなんか、この2本のバーって、それぞれ何が違うんでしょうかというか何か、
01:58:28	この下のバーが出てくるからには、何か上、上の状況があまり芳しくないという意味なのか。
01:58:34	この久野側って、何かなぜ始まったんですたっけ。
01:58:38	はい。内村加茂でございます。上の方は、前回頭を審査会合でご説明していると今鈴木さんおっしゃったような、比木南田とか宮内或いは、
01:58:49	BF4BF1のもくろみを持った調査をやってきておりますということでそれぞれデータが出てきていますので、
01:59:00	速報で口頭でお伝えした通りなかなかもくろみ通りに例えば火山灰も出てこない、或いは花粉なんかも、BF4の方で想定通り出てこない。
01:59:12	相変わらずない、ないないってところが積み重なってるというのが現状でございます。で、一方でBF1の方であればもう少し、
01:59:25	花粉であったり、
01:59:29	使えそうなデータが出てきているということで大きな方向性としては、上載層をBF4じゃなくてBF1に、
01:59:38	変えて、説明をしていきたいなというふうに現地確認いただいたときにご覧いただいて、墓場の横で少し見えていたと思いますがあれの、もう1個、
01:59:48	北側にちょうど
01:59:51	BF1の売り上げその下のところにあるということまではボーリングで確認しておりますので、そのあたりは緑の追加調査という形で掘っているのとは、
02:00:05	当然間ですね、同一性については、HQまでご議論いただいて、考え方は理解したというお話をいただいておりますのであと現地調査で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:00:16	実際物を見てということになっておりますが、その間はもう目に行かないといけないということでこちらのボーリングも今、並行して進めていると、というのが現状でございます。
02:00:30	それらが終わる。
02:00:32	暁にはその BF1 で実際上載層としてしっかり例えば部署が、
02:00:39	説明できるであろうとまず記載してある通りで古谷でその全体像、本資料ってのはこういうのが違いますよと、というようなところのお話をした上で、
02:00:49	では、
02:00:51	じきになんかと比べた日に荒谷宮内なんかと比べた時に BF1 っていうところは、こういうデータで整合性があると、いうことで、
02:01:01	フレアデスであろうというところの説明を 12 月ぐらいまでにしたいというふうに
02:01:08	鋭意調査、或いは他の文献作成等もしているところでございます。で、この緑の中で、会田の H 断層と想定されるものの調査をしておりますのでこれらが同じように薄片とって、
02:01:24	1Q まで説明したのと同じような同一性として、こうですというところを、3 月ぐらいに説明したいと。で、内藤管理官と面談した時にやっぱり H5 断層が多少、
02:01:38	南層の幅であったり落差が他より大きいというような先行他社でいくと、H5 が代表ではなくないのかという議論もあってそれで一方で細粒物質、ちょっとやわらかいよねとその面を使って、
02:01:53	動いてないっていうことをちゃんと証明する必要があるんじゃないかというご指摘もいただいておりますのでこの辺りもう少しちょっと調査を深めてですね、動いてませんよというところを整理して、
02:02:04	あわせてご説明をしたいというふうに考えておりますので、この辺りの資料を都市整備調査結果はこうでしたっていうのを整備した上で、
02:02:16	方針として公開できますというところを、7 月ぐらいにご説明できればなと思ってやっているところです。今、ゴールデンウィーク明けてから、その BF1 なんかで、実際にはトレンチとか掘ってですね、上載層、
02:02:30	自体を見つけるところをやっているのもそのあたり、
02:02:34	確認でき次第、当然、写真撮ってスケッチとった上でっていうふうに考えております。
02:02:47	はい。ちょっと少し先のところは

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:02:52	置いといてですね。
02:02:54	3 ページだと、現在、全力で取り組みを進めている最後の 2 行は、現在進めている長課長さんのもくろみとそれに基づく対応方針を説明していくんです。
02:03:08	並行して調査分析を進めており、
02:03:11	データが取りまとまった段階で説明する。
02:03:14	確かに前回の会合でもいきなり最後調査が終わった後 2 杯説明しますではなくて、という話はもう最後。
02:03:23	してはいるんですけど、
02:03:25	この右側の現在進めている追加調査の結果が取りまとまった段階で今後対応方針を説明していくという、
02:03:32	これは、
02:03:34	何、何も調査がすべて終わった段階という意味ではなくて、
02:03:39	今、もともとやっている 50 円盤の探索とちょっと
02:03:44	データデータかな少し花粉だったり角テフラクリプト Tephra だ当たりの状況があまりよろしくないの、コストの BF1 付近の H 断層をこれをしっかり存在を、
02:03:56	確認すると、これ多分ももとの、前回 3 月 9 日の調査の方の工程線表でいくと、多分既存の評価方針にとらわれない追加調査、
02:04:08	現地調査ボーリング多分そっちの方でやってたやつですよ。
02:04:13	で、なので、ちょっと方針を変えるにしてもある程度、その辺りをつけて、方針が示せる段階になったらという意味で、この現在進めている追加調査っていうのは、
02:04:25	今だと、10 ページで言うと 5 月のエンドまで実線を引いている。
02:04:31	この、
02:04:32	調査が終わった段階で、
02:04:34	いわゆる、
02:04:37	今後こういう方針で調査を、
02:04:40	データを取りに行くんでそれが多分下の 4 月からの線が引いてあるもう一方の追加調査。
02:04:47	はい。中部電力嘉門ですおっしゃる通りのつもりで書いてまして 5 月まで書いている、もともとご説明した BF1 の調査も、
02:04:57	さらなる調査という形で前回の審査会合でも説明しております。こちらがまだ、今、本田上で調査中ですので、それらがまとまった、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:05:08	結果として、やっぱりもくろみと多少違っていたと、いうことを踏まえて説明をしたいというのが3ページに記載しているスタンスでありますんで、
02:05:19	当然、データ全部出てきてはいないもののBF4については、明らかに明確な物証薄すごく期待したそのD層の厚さが当然、
02:05:32	BF4のところでは50センチぐらいしかなかったんですがもう少し分厚い広がりであり、厚さも見つけたんですがそこで調査すると。
02:05:40	やっぱり火山灰も下方も出てこないというようなところがあるので、なかなか確実にこれが、
02:05:51	売り上げそうであろうというエビデンスがそろわないかなと思っている中で、BF1では、そうじゃないところが見えつつあるというのでまだ今調査中であるというスタンスは、
02:06:04	9、10ページの、
02:06:07	バーチャートと変わらないと。
02:06:09	で、これがまとまったら、ご説明しますという工程に落とししております。
02:06:16	うん。
02:06:24	確かになあ。
02:06:25	9月に状況を聞いたとしても結局聞いても、
02:06:30	芳しくないのが今、
02:06:32	まとめております方針どう転換するのかっていうのをまとめております西方とならないんですよ。
02:06:38	それで中本でございます。おっしゃる通りでBFM優先してやってきてるったところもあって、芳しくないって報告だけれどできるんですけど、
02:06:49	どうするんだってところが、なかなかまだ書き切れてないところもありますので、これを今月、来月でしっかり仕上げようかなと。
02:07:01	笹木さんとも相談をしているところでございます。で、内藤管理官の面談では、とりあえずでも時間遅れっていうのは早めに公の場で言えと。
02:07:11	いうご指示もいただいておりますので、次の審査スケジュールの中で、
02:07:17	今のような状況はご説明して時間くださいとも、もうちょっとデータが出てないところまで言うかどうかは別として、少し今整理中なんでお時間くださいと。
02:07:28	いうことはお伝えしたいなと思っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:07:38	はい。書いてなかったとしても、それに近い話は聞きますけどね。
02:07:44	はい。
02:07:45	なんで、なぜ次説明にこれできるのが、7月の段階になるのかっていう。
02:07:51	結局、もう少し方針をもしかしたら見直さなきゃいけないのかもしれないと今、今現時点で、PF4を第いわゆる代表というか、あそこでHQ上載層としてやろうとしているんだけど、
02:08:04	私もちょっとその通りかという、少し部市長になりそうなものがあまり今の現時点では出てきていないので、
02:08:12	もしかすると別のBF1の方で、上載層を使うかもしれないんだけど、にしても、
02:08:18	どうなのかある程度方針立てれるレベルまでデータB1付近のところでのデータが出てきたら、説明しますってそれは7月になりますと、そういうことなのはわかりました。
02:08:29	はい。チームリーダー者です。その通りでございます。
02:08:35	はい。
02:08:41	谷ですけど今鈴木さんがもう確認した。
02:08:44	ことなんですけどどうこのスケジュールに表現するかっていう中で、多分この緑線を書くとき緑線に対応するような説明がちょっと、
02:08:54	いるんじゃないかなって僕は思うんですねこの3ページのところでね。
02:08:58	で、いや、これってでもあえて緑線で分けて書いてるけれども、何、別に。
02:09:05	他の延長線のような話を聞いてるとそんな気もしているし、ただ単に今のまとまりが、まとめがこう寄田
02:09:16	んなんていうんすかね。より、より調査をもっとしなきゃいけなくなったから伸びているっていう話なのかというのが、何かねこの緑線を聞いてしまうとやっぱりこの緑のこの調査、
02:09:27	細かい何をやってるかは別なんですけれども、どうしてこの二つに分かれたのかっていうのの説明を入れて欲しいなと思うその辺はちょっと任せますけれども。
02:09:39	はい。中部電力天野ですありがとうございます。確かにいや、ちょっと緑線で書くっていうよりは、
02:09:44	5月までやってきたのを7月に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:09:49	御説明しつつ、追加で、さらなる追加をやるというだけなんで別掲するってところ破線のところが、
02:09:56	伸びていくっていうのが実態。
02:09:59	そうです。はい。もともと御説明していった調査内容を大きく拡充するわけではなくさらなるやっていうふうに言っていた部分。
02:10:09	をより進化させていただけなので、
02:10:13	ちょっと、おっしゃる通りなんで、波線のところが伸びるような形で表現をしたいなと思います緑線は、邪魔な消します。はい。
02:10:29	はい。
02:10:32	そんなところかなあとは、
02:10:39	つまり、システム部は本当にその先々までいってもしょうがないので、
02:10:45	あとは、
02:10:47	どうだったね。
02:10:52	徹底的、あとすいません、単なるてにをはの表現で、
02:10:56	4 ページなんですけど、基準津波のところですね、上から三つ目の、
02:11:03	地震による津波のところで、
02:11:07	今回策定方針って言うてるのは、別にここで何かを策定ではなくて評価なので、今回評価方針の説明で評価結果は除きますって、
02:11:20	いう
02:11:21	記載がよろしいんじゃないでしょうか。
02:11:24	別に地震による津波を策定、ここ田尾策定はしないですよ。
02:11:29	基準津波の策定のところもう今回って基準津波の何ていうか策定方針、
02:11:37	何か基準津波の定義地点はここでさですみたいなそういうところも含めてしないでしょねなんでここは、今回は組み合わせの方針、
02:11:48	はい。神瀬川でその評価結果は除いていると、いうことだと思いますので、はい。おっしゃる通りですので適正な表現に修正させていただきます。
02:11:58	スケジュールの方での話なんで、これが見つかりはしないと思うんですけど、
02:12:04	基準津波の方針を変えてないじゃないかとかって、そういうことにはなら
02:12:10	多分今その段階で基準津波の選定方針とか語っても、さすがにそこは
02:12:18	国民、はい。
02:12:20	よかったんだってにお話ですねはい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:12:23	ということであります。
02:12:26	こんなところ、はい。
02:12:28	そうするとすみませんちょっとスケジュールの方はさっきのその地質の部分ですかね。ちょっとあの辺が、状況が誤解を受けないようにという、少し修正等、
02:12:39	あとは松波の方は先ほどあったような形で、最後ちょっと資料構成も開催確認どっちにしますか、もう1回一応持ち帰って、
02:12:47	確認します。どこで線を区切りかで、一応今のところだと、45ページまでのところ、
02:12:53	今回の、最低限必要な議論は、9人が可能で、場合によって説明上とか質疑の過程で、どういう振り方をしてるかというところで、
02:13:05	50、46ページ以降使うということで、
02:13:09	ちょっとそこは、
02:13:10	同じ次詰め資料で区切るのか、どうするのかは、最後どうします。
02:13:18	1回持ち帰って考えて、一両日中とかそのぐらいで、会合に向けた資料を提出資料の区分決めるときに、資料番号を決めるときに、
02:13:28	お答えいただくっゆう形で大事にしますか、それとももうこの場で、
02:13:33	ある程度決めちゃいます。
02:13:35	中部電力の盛です。基本的には議論いただく資料と、それ以外ってことで分けさせていただければいいと思いますのでわかりました45ページまでのに相当するもちょっと一部
02:13:46	海域活断層1枚出しますけど、ものでホッチキスどめでそれがだから資料で、
02:13:52	そこで区切って、
02:13:55	地震による津波、基準地震動策定による地震津波、
02:13:59	のあれかな。
02:14:02	個別のものは、これは費用で、
02:14:05	別の中部電力の森井と補足説明しようと思うか、ちゃんとしてしまっいいですかはわかりました資料という形でその参考資料の中に、
02:14:17	いわゆるプレート内の評価の流れなんだとか海域活断層の流れがあってさらにその後ろのページに補足説明がつくっていう、わかりました。はい。
02:14:27	それをじゃあれですね、次回理事会っていうか、次の、
02:14:31	個別の開放のときになるとまた不具合することになる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:14:35	わかりました。
02:14:37	ホッチキスどめとしては二つになるわけですね、今回、はい。
02:14:41	承知しました。はい。
02:14:43	一応本震ちょっと間、少し、少しありましたけど、今回方針の部分を切り出して、
02:14:52	一応念頭として置いてるのは
02:14:57	次直近、今月中には介護にかけたいという思いで一応可能今日確認をして、
02:15:04	その打って個別のプレート内と、活断層の個別の評価、中身はパラメータの振り方だとか評価結果みたいなものは、部分的に確認を進めてますけれどもこれはその次、
02:15:18	ステップで審査、審査会合にかけると。
02:15:22	はい、わかりました。
02:15:24	そういう形で資料の個人、
02:15:27	今日は SE を、
02:15:29	で、また、
02:15:32	引間そうですね。来週はその開放来週の議題にかけるのであればまた案内いたしますので。はい。
02:15:40	ご準備の方よろしく申し上げます。じゃあ、よければ、
02:15:44	これでヒアリング終了しますね。はい。お疲れ様でした。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。